

「東京真田町の会」会報

日本タボス

平成 **16**年 **12**月 **25**日



金・縄・山・實・相・院

…… 春爛漫のふるさと風景 ……

写真撮影：武捨 衛人

NO.

17

ふるさとのあちらこちら・1

写真提供 : 真田町役場 情報政策課

写真撮影 : 編集部 武拾 衛人



“初夏の陽射しが眩しい信綱寺の境内”



“若き日の思い出も豊かな上田城址の春”



“新生なった駒込橋～穴沢方面から下横道方面を望む”



“ひっそり静まりかえる初秋の山家神社”



“皆この電車で上田に通いました～本原駅です”



“小雨に煙る初秋の入軽井沢橋バス停付近”



“学び舎の跡を訪ねて～大日向学校跡のモニュメント”



“学び舎の跡を訪ねて～横道分教場跡のモニュメント”

会長挨拶

会長 塩沢和政



会報日本ダボス一七号を発刊するに当たり一言ご挨拶申し上げます。

東京真田町の会員の皆様、真田町民の皆様にはお健やかに暮らすのことに拝察いたします。会員の皆様には、日頃より多大なご理解とご協力を賜っており、厚く御礼申し上げます。またふるさと真田町ご当局にはいろいろご支援を頂き感謝いたしております。

本年も去る七月一日アルカディア市ヶ谷において、第一七回定期総会並びに懇親会を開催いたしました。当日は会員の皆様百余名と、真田町から箱山町長さん、大塚教育長さん、佐藤議会議長さんをはじめ、多くのご来賓のご出席を頂き、楽しくにぎやかに盛り上がり、盛会裡に終了いたしました。これもご出席各

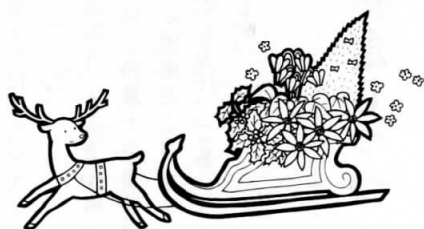
位のご協力の賜物と感謝しております。

今年は会員有志の皆さんとふるさと訪問で、故郷傍陽に帰られた前会長の三井芳郎様のお宅へお寄りして楽しいひと時を過ごさせて頂きました。その後菅平でマレットゴルフをして楽しみ、一泊し菅平フエスティバルに寄り帰途につきました。また真田町の皆様と親交を深める一環として、町民ゴルフ大会、親睦ゴルフ会に会員有志の皆さんと参加いたしました。そして八月七日の真田祭りの花火大会にご招待を頂きましたので私が行ってまいりました。

振り返りますと今年もいろいろな事がありました。前半は狂牛病、鳥インフルエンザ、鯉ヘルペス、重大な事故等が多発し後半になりますと、連日三〇度を越す猛暑、多数の台風の上陸、浅間山の噴火、中越地震等があり、食品、環境、経済への打撃は計り知れないものがあると思います。ここへ来て日本経済は少し明るさを取り戻したかに見えますが、手放しで喜べる状態ではないと思います。私は皆様が良い環境の中で健康で安全な生活を送られることを願っております。

ここで皆様に御知らせすることが御座います。それはご存知の方もいらっしゃると思いますが長年にわたり東京真田町の会の役員としてご尽力頂いた、監事の関谷義久様が九月に、やはり監事の塚田恒雄様が六月にご病気でご逝去なされました。お二方の生前のご活躍に深謝し謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

月日のたつのは早いもので、今年も残す所あと僅かになりました。結びに東京真田町の会並びに真田町の益々の発展と皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしましたして、挨拶と致します。



発展を続けるみなさまの郷土真田町

真田町長 箱山好猷



東京真田町の会々員の皆様には、日ごろから故郷真田町のために温かいご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、今年は、度重なる台風の本土襲来と、集中豪雨による自然災害があり、また、二一年ぶりの浅間山の噴火、そして、多くの人的被害をもたらした新潟県中越地震とあらためて自然の驚異を思い知らされた一年でした。幸いにも、故郷真田町は四方を山に囲まれた自然の防壁により、大きな被害はありませんでした。

さて、皆様もご承知のとおり、菅平高原はラグビー・サッカー・テニスを中心として夏のスポーツ合宿のメッカとして全国的に有名ですが、近年陸上の合宿地としても注目を浴びております。メダルラッシュに沸いたアテネオリンピックも記憶に新しいところですが、その中でも、女子マラソンの激戦を勝ち抜き、金メダルを獲得した野口みずき選手、入賞を果たした土佐礼子選手、坂本直子選手の勇姿は日本全国に感動を呼び起こしました。

その三選手と男子マラソンの諏訪利成選手は、毎年、菅平高原で高地トレーニングを積んでこられたところですが、このトレーニングがオリンピックでの活躍に繋がったと確信しております。

また、野口みずき選手につきましては、菅平牧場内のクロスカントリーコースを利用していただいたご縁で、コースの名称を「野口みずきクロカンコース」と命名し、この十月一二日には、ご本人の出席のもと記念除幕式を行いました。

菅平高原には、スポーツ合宿以外にも、中高年の方にもやさしい日本百名山の四阿山・花の百名山の根子岳への、トレッキングコースがあり、

帰郷の際にはぜひチャレンジされてはいかうでしょうか。視界三六〇度の頂上からの展望とさわやかな空気が皆様をお待ちしております。

また、重点事業として位置づけ、架け替えを進めてまいりました傍陽地区の駒込橋橋梁整備工事が竣工いたしました。昭和三五年に竣工して以来四四年という長い歳月を、上洗馬地域の発展に寄与してまいりました橋梁が、今夏、橋長三六、二メートル、車道幅員が五、五メートルで上流側に二、五メートルの歩道を設けて、対面通行が可能な二車線の橋梁に生まれ変わりました。八月九日に開通式が行われ、テープカットの後、橋のたもとに住む西牧公一さん一家三代を先頭に橋の渡り初めを行い、新しい駒込橋の完成を祝いました。

この主要幹線道路の橋梁の完成により、地域間交流が益々盛んになり、更に地域の活性化に貢献するものと思います。

このほか、将来の担い手である子供たちの健全な身体を養うため、地域の食材でおいしく安全な食事ができるよう、学校給食施設のドライシステム化を進めています。真田中

学校と傍陽小学校はすでに整備を完了しており、今年度は、本原小学校の給食施設整備を実施しています。

また、来年度は、長小学校と菅平小中学校の工事を予定しており、これにより全ての学校給食施設の整備が完了す

東京真田町の会の発展を祈念しつつ

真田町長寿会長 堀内 仁



東京真田町の会会員の皆様には、その後お変わりなくお過ごしのことと存じます。

私は七月十一日の第十七回総会に、長寿会の会長という立場で出席させていただきました。大勢の会員の皆様方にお会いでき、大変感激した一時でした。懇親会での話の中で、「出身地はどこだい?」「あ、あの家かい。」「分かった。分かった。」「兄さん、どうしてる?」「姉さんは?」「皆元気。」「そりゃ、良かった。」「等々。田舎ことは丸出しで話

るので、楽しみにしていただくさい。

結びにあたり、東京真田町の会の益々のご発展と会員皆様の益々のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、ごあいさついたします。

をするうちに、幼い頃の面影や実家の様子までが目に浮かび、時の経つのも忘れ楽しく過ごさせていただきました。

さて、現在の真田町の人口は一万一千八百余人。その内、長寿会員は二千四百余人。まさに高齢化社会の到来です。四月に総会を開き、一年間の活動計画と予算承認の後、各事業が推進されています。

洗馬川運動公園では、年三回のゲートボール大会が盛大に行われます。また、お屋敷のマレットゴルフ大会も年三回行われ、これまたたいへん盛況です。ダンス教室は年十四回。ダンスパーティーは年三回、華やかに行われます。囲碁クラブの皆さんは、役場近くの老人センターで楽しんで

います。十月一日には、高齢者体育祭が開催され、台風一過の晴天のもと、七百二十余名が参加し盛大に行われました。

「生まれ故郷を何で忘れてなるものか!」聞いたことのある歌の一節ですが、私のすぐ下の弟が就職して、最初にくれた手紙の書き出しです。

どうぞ東京真田町の会の会員の皆様には故郷真田町をお忘れなく、またご支援をよろしくお願い致します。私たち長寿会の会員一同、町民の皆さんとともに力を合わせ、皆様の故郷でもあります真田町をしっかりと守り、発展させていこうと考えています。

最後に、数多く襲来した台風の被害が少なかったこと、新潟県中越地震の被害もなかったこと、綺麗な紅葉に包まれ平穏無事であることを申し添えベンを置きます。



帰省 その思い出

荻原 学

(真田出身)



「故郷は遠くにありて想うもの」それはそれとして、やはり見て眺め特有の風の匂いを感じ、目に入る光景にその想い出が甦り胸に迫るものが故郷だ。

戦後も少しは落着いた五年後就職で上京、以後幾多の帰省だったが、独身のうちは年末から正月にかけての帰省が多く、昼間働き夜行列車での旅だった。ほどほどの乗客で固かった座席も苦にならず、仕事や都会からの開放感と生まれ故郷での出来事への期待に思いを馳せ、浮き浮きだった。上田駅から真田駅への電車、車窓から目に入る風景は全て懐かしかった。終点駅に降り立つと寒気が肌身に感ずる、この寒さが故郷だ、嬉しかった。

何年か後、人並みに妻帯し

子供も幼児期を離れた頃、自動車に関わる仕事でもあったので、はしりだったが友人からの借り車で晩秋の故郷への帰省を試みた。初めての長距離ドライブ、国道が無難と考へて走ったが、空いている割に時間を要した。碓氷峠のヘアピン道路は後年中央高速道路利用まで、帰省する都度の通過で往きも帰りも気疲れしたが、事故も無く幸運だったと思っている。上田から県道に入り石舟を抜けたあたりから望むと黄金色の稲穂、色づいた周辺の山々、秋日和にも映えその美しさは感激だった。それが我等の故郷だった、今でも目に浮ぶ。その後裏道路を走る事により、時間も短縮できた。幾年か後、住いにも便利な中央高速道路を利用してはいるが、高速道は気が抜けないが今以って大過なく走っている事は俸せという事か。

立ち込めた。そんな思いを馳せてる間もなく上田駅着、レンタカーで兄と一緒に墓参後実家で一休み、トンボ返りで上田駅へ、四時過ぎの列車で帰路へ自宅へは九時すぎ、家内共々疲れたものの予想よりも早い帰宅だった。「故郷は遠くにあっても近くなり」か。古希を越えた現在でも健康であれば、目まぐるしく変動する社会だから故にこんな体験は当然と思うが。

故郷を誇りに感ずることは、かつての電車の線路が主要道路で大いに活用されている。生活環境を向上されたであろう、トイレの水洗化、これは立派なものである。その他マレットゴルフや様々なイベントなど多岐にわたって町民皆さんの意識高揚に努力されている。近年市町村合併の大きな問題を抱えられ、真剣に取組まれておりその成り行きが注目されるが、仮に町名や組織がどの様に書き換えられ、見慣れた山や川、町並みの佇まいは変わるものではなくいつもの姿で、やさしく迎え入れてくれるだろう。それが我等の故郷、真田の郷だ。毎回小学校を見ながら通過するが、増改築され昔の面影はないが、小学生時代の想い



出が忘れ難い。通学した県道が広く遠かった。運動会、早朝の裸足で徒競争後の足裏の痛かったこと。祝日に斉唱した式歌、今もその時期が来ると口ずさむ。その他多々あるが。

初めて海を見た修学旅行が圧巻だった。新潟は直江津、水族館見学で珍しさと美しさに驚いた後松林を抜けると、突然大きく広がる砂浜だった。その先はどこまでも続く一直線の海面、「これはなんだ」瞬間これが海か？直後全員大声を上げ脱兎のごとく駆け出した。強烈だった。砂浜に打ち寄せる静かな波打ち際、何もかも驚きの連続だった。翌日は朝から雨、旅館の窓から見る海は昨日とは打って変わった姿、海水は濁り波高く生き物のごとく砂浜に間断なく打ち寄せる波、恐ろしい光景を目の前にし、これも驚きだった。

記憶も薄らぐ現在、印象的なものは忘れるものではないのだろうか。故郷の想い出尽きず懐かしむ。

憶 勇士は

倒れたるかな

顧問 小林孝夫

(曲尾出身)



「東京真田町の会」発足とともに理事として苦楽を共にし、また、私が専務理事をしている公益法人の理事をお願いしてから一〇年、まさに塚田さんとは戦友であつた。

五月一日午後塚田さんから「これから転地療養をしますが、詳しいことは追って連絡します。」という電話があつた。あの元氣な人が急に転地療養とは何ということかと不審に思いながら、後日の詳細を待つこととした。思えばこれが塚田さんと交わした最後の言葉となつた。詳細は六月二三日葬儀の折、真田町にお住まいの兄さんから伺い、漸く全てのことが明らかになつた。

塚田さんとの息抜きは、

「結庵」という蕎麦屋さんで好物のそばを食べながら、語らうことであつた。そう言えば今年の正月休み明けに「小林さん、結庵でそばを食べませんか、お待ちしています。」と電話があつた。結庵は内幸町と麹町に店があり、上田に本店がある。塚田さんの会社からの地理的位置から麹町が便利で、そこで落ち合うことにした。その日偶々米国留学中のおかみさんの娘が店に出ており、話しの輪に入ってくれて、四方山話に花を咲かせた。彼女は東大文学部卒の才媛で、日本の何処にもない蕎麦屋を創りたいという希望から米国留学をしており、近く渡米しますということであつた。六月の終わりに留学期間が終わるので、七月から店にいますからその際には是非お二人で来て下さい、と言つて別れた。これも果たすことなく塚田さんは逝ってしまった。葬儀の後内幸町の結庵でおかみさんとお会いした時、五月一日の午後塚田さんから、これから転地療養しますという電話があつたとのことであつた。塚田さんの悲報に接し毎日涙が出てどうしようもありません、娘も楽しみに待っていましたのに、と涙を

浮かべて話してくれた。

塚田さんが転地療養された病院から、会社役員、部・課長あてに出された六月一〇日付けの手紙の写しを、会社のご厚意により私もいただいた。その手紙を一読して、心が震えるような気持ちでした。ガン治療の新しい免疫療法に挑戦し、日々まさに壮絶なるガンとの戦いであつた。そして、最後に「必ず生還してみせますので、ご期待下さい。」と結んであつた。勇者も刀折れ、矢尽きてついに倒れたのであつた。

塚田さんは、人に絶対迷惑を掛けたいと言うことを信条として、人生を歩まれた人であつた。反対に私は後輩の塚田さんに幾度となく迷惑を掛け、今となつてはお詫びのしようもなく、これからの戒めとしたいと思うばかりである。

以上



関谷義久さんの

死を悼む

副会長 中 島 正 江

(戸沢出身)



私が東京真田町の会に入会した時にはもう理事になっておられとても活躍されておられました。

何年ぶりにお会いしたのかしら……とても若々しくお元気で真田町会のお仕事を精力的に熱く語っておられたのもつい最近のように思えてきます。

私も真田町会の理事としてお会いするたびに真田町の事も、又ご自分の事、特にこれからしなければならぬ会社の事等、年々大きくなって行くご自分の理想に向かって進んで行く様も見てきました。

同じ沿線でしたので帰りはほとんど一緒でした。これからは介護関係の仕事も大切だよ、お姉ちゃんも看護婦して

たから経験を生かして仕事したらいのねって(姉とは同級生でしたので)私はこの言葉で介護の仕事をしてみようと思ひ資格を取り、今その仕事にも携わるようになりました。

関谷さんは(いつもはお兄さんと呼んでいたんです。田舎で隣の家、旧姓はなぜか私も関谷でしたので)これから日本は、と情勢等良く分析して会社もそのように進めて行かれたようです。

ここ二三年は体調もあまり良くないようで会議にも欠席がちでしたのでお会いしたときには何時もくれぐれもご無理しないでねってお別れしたのに……今年の総会には、入、退院を繰り返しておられ体調不十分ながら出席出来るとうふで、又はしたいと言う希望で出席のお返事を頂いておりましたのに本当に残念でなりません。もう一度お元気で会いたかったのに、きつと治るからっていわれていたのに病気には勝てませんでした。

本人もさぞや無念でしたでしょう。関谷さんのことは姉からクラス会等した事等良く聞かされ、耳に入ってきました。良くぞあの体でここまで

生きてこられたのはとても立派だよと言っておりました。

それは戦争で戦地で大病を患い、そして入院中の出来事、事務局長と自分で全部の患者をそこから他の場所への移動、最後の自分達が命からがら逃げたと、親と子生きるためには別々になつてもと非常に悲惨な目に遭遇されたとの事、戦争はともいやな事です。

そういった状況の中で良くぞ日本に帰って来られた事です。こんな事があつたから一度は捨てた命、生きられた命、限られた命のある内にと精力的に会社作り、仲間作りに集中されたのでしょうか、ほんとうにお疲れ様でした。

九月に力が尽き、天に召され、真田町信綱寺のお坊さん(同級生)が来られ密葬されたそうです。東京真田町の会にはしのぶ会(社葬)のご案内を頂きましたが他の行事とかち合っていた事もあり、山口事務局長、私など全員で六名が参加させて頂きました。

会場では元気に会社の話をしている一月頃のビデオも上映されていました。家が隣でしたので義久さんのお姉様にお会い出来、悲しいけれどもなつかしい面でもありました。約五百名位だったでしょうか、

皆様に送られて旅立ちました。奥様も六〇年も病氣と闘って来たのだからお疲れ様でしたとしか言いようありませんと言っておられ、いつも話の中で正江ちゃん正江ちゃんと言つて話をしたよって云われた時やつぱり妹のようだったんか、もつとあまえていれば良かったなあーと今でも思っています。

でもご本人は五月には家を新築して中国残留孤児等の面倒も見られるように四つも部屋を作つて余生を送ろうとしていた矢先の事だったようです。残念でしょうけれどもきつとお兄様の意志をついでやつてくれる若い人達があらわれると思います。

先の塚田恒雄さんもそうですが皆さん働き過ぎですよ、恒ちゃんの仕事が停年になつたら真田町会の事はつちやりからと約束してたのに……四月にはゴルフも一緒にしたのにまさかその一ヶ月後位で旅立ってしまうとは誰も思っていないませんでした。入院する前夜にこの世に恒ちゃんの声(詩吟)を最後に残すとは、ご家族としてもまさかの事だったんでしょ。病氣と闘つてくるからと最後に飯島慶三郎副会長に残した言葉、本当に

残念です。関谷理事共々あちらの世界で東京真田町会の事見守って下さい。

残った人皆、心をついにしめて頑張ります。関谷さん、田舎隣り合わせです。お盆に帰った時でも真田町会の報告させて頂きますね。本当にお疲れ様でした。悲しいけれど、さようなら！

我が菩提寺実相院

柳沢 實

(秋出身)



真田町傍陽地区に今から千二百七十九年前、僧行基により創建された古刹、実相院がその長い歴史を刻んでいる。時に行基の年齢五十七歳、当初は現在地より更にやま深い萩区峰山を越えた鳴尾に通じるケモノ道に等しい、少し開けた場所にお堂の形で建てられた様だ。今この場所を特定

認知できる人はきわめて少数で、萩区に住む私とは同族の柳沢睦哲さんがその一人と伺っている。今でも堂平と呼ばれその地名を留めている。

お堂と寺の相違について少しふれてみたい。お堂とは仏教参詣対象の建物で無人、これに対し寺には常時住職僧侶が住む参詣対象の建物と解している様だ。行基は西暦六百六十八年、河内の国、現在の大阪に生まれ十五歳にて出家をし、八十二歳でその生涯を閉じている。この間「畿内」の山城、摂津、和泉、河内、大和の五国に四十九ヶ寺を建立し、又諸国を巡遊数多くの寺院建立に携わり、これらを考える時、我が菩提寺実相院もその例外ではないであろう。私はその様に考える。尚行基は四十五代聖武天皇より我が国では初めての大僧正位を授かっている。

菩提寺実相院の呼称古くは
靈心山慈濟寺実相院
(レイオウザンジサイジ)

と称した。亦この名刹実相院には、古代史にその名を留める坂上田村麻呂東征祈願所の石柱が建てられている。尚この人物は五十代桓武天皇より我が国では初めての征夷大將軍の称号を賜っている。私達

子供の頃学習した歴史では、田村麻呂の奥州征伐と学んだが、現在は東北の経営と称している様だ。又田村麻呂については、長地区角間に巣くう鬼賊、毘耶王(ヒヤ)を捕らえ実相院境内の松に鉄縄を以って結び刑した鬼松、鬼石伝説は既に皆の識るところである。以来寺の名称は

金繩山観音寺実相院(キンジョウカンノンジ)

と改称されている。行基実相院開山以来約百五十年後の事である。桓武天皇と田村麻呂の關係に就いて少し記してみたい。歴代天皇のうち第四十九代光仁天皇の後(キサキ)となられた女性、高野新笠は百濟(クダラ)、南朝鮮からの渡来人でありその子、五十代天皇が桓武帝である。

当時我が国からみた文明文化の先進国は中国、朝鮮であり、文字を解し理数を解し更には冶金(ヤキン)、土木、建築、架橋、工芸などの技術に長けた集団で今様に表現するならば、ハイテク集団とでも称するのであるうか、当然のこと乍らこれらの人達は我が国で重用されたであろうと想像される。尚渡来人とは先進国から後進国に移り住んだ人達のこと、当時我が国に移り

住んだ殆どの人達が渡来人と言われる所以(ユエン)である。

又、坂上田村麻呂自身も百濟からの渡来人であり、行基も両親が百濟系の渡来人と言われ、従って行基は百濟系二世となる訳です。

尚天皇の呼称であるが西暦七百年頃、年号で数えれば大宝と言われた頃までは大王と呼ばれ、更に年代を遡れば神話の世界へ入ってしまう。この様に古代の人達と古都奈良との縁(ユカ)りを考えた時、ふる里真田郷、洗馬郷に住む庶民の営みを想わずには居られない。

尚、天台宗開祖、伝教大師最澄はその生きざまの中で僧行基の影響を大きく受けたと言われる。

時に訪れるふる里の菩提寺、山ふところに抱かれし実相院、遙か南に望まれる蓼科の山すそ、その稜線、静寂そのものの境内は本心に心の底から和む思いだ。

扱て私事で恐縮乍ら一月十七日にこだわってみたい。

一 実相院の初観音 二 尾崎紅葉の名作、金色夜叉の名セリフ、今月今夜のこの月を
三 私の誕生日 何れもこれと合致する。

余録二題

一、白山さま

真田町誌歴史編下に登場する里宮、山家神社、その奥宮は菅平四阿山頂に白山さまとして祀られている。これは真田氏一族の守護神で、日本全国に数多く存在する白山神社のルーツを辿れば、加賀の国石川県の白山に行きつく山岳信仰であり、更にその源流を追えば高句麗(コウクリ)、北朝鮮の白頭山にその源ありと言われる。

二、観音さま

実相院本堂を正面に左手の山頂に建立された観音堂、どの様に考えてもあの急峻な山頂に回廊まで備えた建物、山家郷、洗馬郷を含め近在庶民のみの労役や浄財だけでは到底……遠く奈良や京の都に繋がりがある豪族又は権力者の庇護があったのでは? 何百年もの風雪に耐えた老朽化現況は心痛む思いだ。以前は奉納された絵馬が飾られていたが、現在は観ることができなく残念だ。



悲しい思い出・

上田 駅

桜井 和子

(下横道出身)



東京で生まれ、戦争がはげしくなった一年生の終わり頃、父の田舎傍陽の祖母のところ

に弟と二人あずけられ、そこで八年間三人ぐらしだった。

今、上田駅も新幹線が止ま

り、駅前もきれいになり大きな水車がまわっていたり、エ

スカレーターが出来ていたりすつかり変わった。六十年近

くも前の上田駅での事はあまりにも悲しく思い出したくも

なかったの、その時の前後の様子や自分の姿もあり思

い出す事もなかった。今幸せに過ごしている孫たちの姿を

見ると栄養失調で特に小さかった昔の自分のあの頃の事が

思われる。

戦後まだ何年もたっていない四年生頃の出来事、両親は東京ぐらしだったので学校の

春・夏・冬休みには必ず弟と二人で上田駅から混んだ汽車に乗り六、七時間もかかって上野駅へ、まだ食糧事情も悪く闇屋が多くいて駅での取締りも厳しかった。上田駅の改札口で祖母が持たせてくれた荷物を入れた重いリュックサックを背負って弟と立っていた時、警察官が来て、いきなり闇屋の子供だろうと駅のならびの交番につれて行かれ、いくら説明しても聞いてもらえず、荷物を全部取られてしまった。

米は入っていないかった。大豆や小麦粉など祖母が畠で作ったものばかりだったのに、乗っていくはずの汽車が駅に入ってから出て行ってしまった。わっと泣きたい気分だった。両親も待っているはずだったのに電話もなく、そのまま帰って次の日又上田駅から乗って行った。

最近、千葉県に疎開したと言う友だちと話したら、その家は当時警察のとなりだったの、闇屋から取りあげた米やその他色々な食料が沢山ありすぎて置くところがなくなり、あずかってくれとどんどん持ってこられて何んでもあつて、何も不自由なく食べられたと言う。私の取りあげら

れた荷物はどうなったのかと

今頃思われる。

監事 塚田恒雄さん追悼

副会長 山口 元彦

(横沢出身)



当会監事の塚田恒雄さんは、

六月十九日肺ガンで永眠されました。六十三歳でした。あ

まりにもお若いご逝去であり、ご家族にとつて大変な悲しみ

でありますとともに、当会としてもかけがえのない人材を

失い、誠に残念でなりません。塚田さんは、真田中学校第一

期生で初代生徒会長を務められ、また当会の創立準備段階

からご尽力下さいましたし、毎年総会後の真田中学校出身

世代による二次会の世話役を引き受けて下さっておりまし

たので、将来は当会の柱として活躍いただけるものと期待

しておりましたし、私などは一年先輩である塚田さんを

何かと頼りにして参りました。本年三月、会の決算につい

て監査していただいた折に、

会計理事の堀内寿美さんと私を誘って一杯飲む機会を作ってくれましたが、その際、六月で★アコム株式会社の専務を退任して子会社の社長になる予定であり、そうになったら

自分がかくあるべしと思う仕事をしたい、ヤマ(私のこと)の知恵も借りる必要が出てくるから勉強しておいてくれ、

ついては体調を整えておくために近々検査入院をするとの

お話がありました。たいそう意欲的な話しぶりでしたし、

塚田さんは以前無理をして腰を痛めたことがあるため日頃から健康管理に努めておられる様子でしたので、まさか肺

ガンの疑いがあるのだとは思

いもせず、一般的な検査入院だとばかり思っておりまし

たところが、六月二十一日の理事会への出欠のお返事がな

く、同月十六日から毎日電話しても誰も出ないのでおか

しいと思っていたところ、十九日午後によりやく出た妹さん

から「今朝亡くなりました」とお聞きし、愕然としてしま

いました。

会社役員として極めて多忙かつ重い責任を負いながら、私たちと接するときにはたいそう明るくてやんちゃな面を見せ、時折英語などを交えながら少し早口でユーモアたっぷりに話すお姿が、今でも目の前にありありと浮かんで、懐かしさとともに「何でこんなに早く逝ってしまったんだよ」と悔しい思いがいたします。

塚田さんのご冥福と、ご家族の皆様が一日も早くこの悲しみから立ち直られますよう、心からお祈り申し上げます。

「東京真田町の会ゴルフ大会」に参加して

宮澤 達人

(番匠出身)

四月十四日、「東京真田町の会ゴルフ大会」が地元真田町の皆さんの参加を得て、真田町と東京のほぼ中間地点である群馬県甘楽町の地で開催

された。私が最も楽しみにしているゴルフ大会の一つであり、逸る気持ちを抑えながら参加した。何歳になってもゴルフに行く前の日はわくわくする私だが、懐かしい人々と故郷の話に花が咲き、真田町の匂いを直に感じられるこのゴルフ大会に特別な思いがあるのは私だけであろうか。集合時間が早かった事もあり、千葉市在住の私は多少の余裕時間をもってまだ暗いうちに家をでた。案の定ゴルフ場へは一番乗りで到着し、ゴルフ場の人もまだ就業前で、ゴルフバックを自分で車から降ろすことになった。



ひんやりとした朝の空気が妙に爽やかで、周りの景色を眺めながら一息入れているとぼつぼつと懐かしい顔が揃いだし、「やーあ暫くだったね」「元氣そうだね」と再会を喜びあう会話が花が咲き、今日来てよかったと思う時間に身を置いた。小学校の同級生も四人参加しており、近況話

に夢中になり、バターの練習をする間もなく全員集合で記念写真を撮り、スコアは今日の運次第とスタートした。

当日は「昼過ぎまで雨」という予報だったが、見事に外れ、午前中は柔らかな陽光もふりそそぎ、風もなく穏やかで、額に汗する春の陽気となり、絶好のゴルフ日和となった。

私は坂口善延町議、荻原啓治さん、役場の中山勇次さんとのラウンドとなり、真田町の近況などを伺いながらティーオフした。フェアウエーの芝は少し芽を出しかけて、遠くから見ると萌えはじめであり、グリーンは鮮やかな緑色で、コースよし、同伴競技者よしとスコアの悪い言い訳が何もない状況であった。

加えて、今日はキャディさんが素晴らしかった。朝のうち、調子の出なかった我々を見て、ベテランキャディの浦部さんのアドバイスが始まった。「スイングが速いのよ。リズムよく、ゆっくり振るのよ」「クラブの重みを感じながら振るのよ」といった具合で、いいショットが出ると「やれば出来るじゃない」といった調子であった。すっかりその気になった中山さんは、午後

の5番ホールでバーディを奪うほどに変身し「こりやーレッスンを料を払わないといけないね」と冗談を交わしたものでした。加えてグリーンへの「読み」も的確で本当に素晴らしいキャディさんでした。

お陰で最近ゴルフの調子はサッパリだった私も今年のベストスコアでラウンドすることが出来た。「今日は同伴競技者に恵まれて」という話によく聴くが「今日はキャディに恵まれて」というのは最近久しくなかったもので、文字通り恵まれた一日でした。

ラウンドを終え、汗を流した後の懇親会では地元弁を交えた会話と勝者、敗者の話で一段と盛り上がりつつあった。地元の方々から「合併問題」の話が出ましたが、真田町を故郷とする我々にも大いに関心のある話題でもあるので、多くの方々のご意見を伺って、早い時期に良い方向に決まって欲しいものです。

懇親会も最高潮に達し、万歳三唱でこの大会も中締めとなったが、お陰様で懐かし・楽しい時間を持つ事が出来ました。

このゴルフ大会が益々発展し、良き故郷交流の場となる事を祈念するものであります。

また次回、参加出来るのを楽しみにしながら、ゴルフ場を後にした。

内海宏光さんの

おたより

(大庭出身)

「東京真田町の会」退会届
四月一三日下記住所に引越しましたことから退会します。

内海宏光
新住所：長野県小県郡真田町大字傍陽字宮ノ前六三四五
—四 一三八六—二二〇三
追伸

長年に渡り会員に加えて頂き、お世話になりました。「東京真田町の会」は楽しい思い出ばかりです。

小生、昨年定年退職し、一年間の再雇用も無事勤め終えましたので永年住みなれた東京及び習志野市から四三年ぶりに生まれ故郷の真田町(傍陽地区大庭に)帰りました。

やっと、身辺及び家(新築)周辺の片付けも終わり、昨今は余裕もでき、朝夕庭先から正面の太郎山、左面の大正山、後方の烏帽子岳、そして右面の石堂の山々に登る朝霧、下がる夕霧を眺め、花鳥風月を

愛しみ、晴耕雨読の日々を過ごしております。

お陰様で、体重も長年の願望であった60kgに落ち、体調はすこぶる良好となり、先日は傍陽小学校が主催した「地域の方々と傍陽小学校の児童が共に自然に親しみ、交流を深める場をつくりたい」をテーマとしたウォーキングに夫婦で参加しました。

コースは1、2年生との「ゆっくりのんびり(ふるさと公園)を通って天狗岩下まで歩き下ってくる」、3、4年生との「天狗岩から傍陽を眺めてみたい(峰山から天狗岩まで登り峰山に下ってくる)」、5、6年生との「ふれあい登山」行ってみよう頑張ってみよう(中横道から登り、天狗岩を通って峰山に下ってくる)です。3コースとも、学校発、学校着です。

我が夫婦は、一番きつい？5、6年生のコースにトライ、無事完歩すると共に交流を深めました。なほ、「東京真田町の会」前会長 三井芳郎夫妻も参加しました。さて、どのコースにトライしたのでしょいか？

こちらも梅雨に入り、今日は雨ゆえ、久しぶりに農作業(畑の耕しと作付け・雑草取り

閑話休題

顧問 清水 清晴

(中横道出身)



等)また 漬物作業(太郎山の
中腹で採取した野ブキ・菅平
高原で採取したワラビ・信州
小梅等)から開放され のんび
り」とパソコンをたたきまし
た。
「東京真田町の会」の益々の
発展と皆様方のご健勝をお祈
り申し上げます。

今年(平成一六年)二月回
顧録洗馬川を上拝いたし、お
目通し戴き、九牛の一毛にで
もなれば幸いと思ひ、東京真
田町の会員さん、知人友人親
戚の方々にお送りしました処
左記のような、激励文や感想
文を戴きました。

長屋さんから
思いがけず心に沁みるご本
をお送り頂きありがとうござ
いました。

一気に読みました、清水さ
んのお人なりを感じていると
ころです。"お国のために"
の南方各地の戦況下を体験さ
れて来たことなど素直な文章
でかかれていて、知らなかつ
た事などすべて感動を持って
読みました。

軍隊前の紅顔の美少年?の
写真、警察時代の凛々しい姿
など写真一枚にも人生を感じ
ますね。

良き時代(苦しくも心は良
き時代でした)の若き青年
像をかいま見た感じがです。

"運命の路線を力強く生き
抜いてゆきたい"
八十一才の方の言葉、これ
も勇気と感動を貰いました。

柳沢 實さんは
同時代を生きてきた者とし
て同感できる記事は唯々頷く
ばかりです。

昭和五十一年旧陽村発行
の報国誌と貴兄出版の回顧録
の関係について、回顧録・46p
47pのトラック島大空襲の記
事、昭和十九年二月十七日、
私はトラック諸島夏島に軍属
にて勤務しており、この戦いで
戦死された岡保、三井重季
氏・大庭、山田恒氏また生還
された入軽井沢、山宮文雄氏
の各氏、戦争をくぐり抜けた

私たちは、幾つか重なる部分
があります。

ある人は私が母を亡くした
事で一番懐かしいのは家の写
真です、それに小さい頃お父
さんを良く知っていました、
若くして一人になられて大変
なご苦労をなさったですね、
お母さん、お産で亡くなられ
たと言うお話は聞いたことが
あります、お産で亡くなられ
たと言うことで、地区の皆さ
んが、小川に赤い布を誰かが
張ってくれて道を通る人がみ
んなで、其処へ添えつけてあ
った、ヒシヤクで、赤い布に
大人も子供も皆通る人は、布
の色のあせる迄水を掛けたそ
うです。

今は皆さん車でですけど、昔
はみな歩きでしたからね。私
は小さかったせい、その赤
い布のことは全然記憶にあり
ませんけれど、亡くなられた
叔母さん達から聞いた話です。

又ある人は
幼い頃、囲炉裏で火を焚き
ながら話をしてくださった祖
父さん、福寿草の花を摘んで
きて大きな声を出されたり、
土蔵の中で遊ばせて戴き、柿
干をつまみ食ひしたり端布を
戴いたり雪の中で動けなくな
って助けて戴いたり、お世話

になったことがつい最近の事
のように思ひ出され心から感
謝しております。

戦中戦後の事も、年齢差は
僅かですが、私の知らない事
や気がつかなかったことが沢
山あり色々ご苦労なさったの
ですね。

千葉県のお友だちは

ご本を頂き有り難うござい
ました、ゆつくり読ませてい
ただきました。小学校の頃を
想いだし、幼い自分を、重ね
て、その頃を想ひ泣いたり、
お友達が恋しくなりました"

成長と共に、その時代、時
代を立派に過ごし今も尚衰え
ずに地域のひととの交流もあり
感心したりうらやましく思っ
たりしています。

傍陽の友達の皆さんもそう思
っています。

これからも健康で、いい父
さんい爺爺さんで幸せにお
過して下さい。

その他、初代会長小林孝夫
様、前会長三井芳郎様、監事
の関谷義久様夫妻は電話で、
洗馬川や神川のお話、そして
北海道に興味を持たれて二十
分もの長電話でした、そのほ
か数名の方々からも、手紙や
電話を戴き創作して良かった
と力強く感じると共に、厚く
御礼申し上げます。

心に鈴を―【安全 運転管理のポイント】―

理事 堀内 幸

(下横道出身)



白バイ転倒。新進鋭の警
察官重傷。今から三十年ほど
前の真夏の出来事です。

私は当時、30台余の白バイ
を管理する現場責任者でした。
危険かつ悪質な交通違反車両
を追跡検挙する職務がら、白
バイ隊は二輪車運転のプロ集
団です。ところが、あつては
ならない重大な事故を隊員の
一人が起こしてしまったので
す。毎日の指導や教育、運行
前点検、また定期的な「ヒヤリ
ハット」の体験発表、各種の事
故防止検討会等はいったい何
のためだったのか。本当に何
をどうすればよいのか。何が
問題点なのか。思案にくれて
しまいました。

交通事故の防止には、精神的な面と運転技術的な面からいろいろ検討等されており、「絶対に、事故を起こしてはならない」という運転者の気持ちの継続が、いかに重要かと痛感しました。そして、緊迫する職務と運転の中に「心のゆとり」を呼び戻すことができないか。二律背反する悩みに堂々巡りをしました。

少年時代に、釣竿の先に鈴をつけ、ハゼが掛かった時のことを思い出しました。わずかな振動でも鈴は「チリチリチリチリ」と鳴ります。「かったぞ」と、はやる心を抑え、釣り上げます。そこで考えた挙げ句、『白バイのハンドルの、小さな鈴を装着する』ことにしたのです。

運転走行中、路面やエンジンなどの若干の振動でも、鈴は「チリチリ・チリチリ」と小さく鳴ります。この鈴の響きは、無事故を懇願する愛する家族の声、また上司・同僚の声と受けとめ、心のゆとり、注意力を喚起するものだと思います。そして『小さな鈴の装着』という『危険防止の意識付け』を隊員に呼び掛けました。安全運転管理者の任務は、人運転者(物(自動車)、仕事(実績)の管理がバーフェクトである

ことが理想であります。

日々この理想に向かって研鑽努力をされている皆様に、私の白バイ暦17年の中で、最も悲しい体験を敢えて公表させて頂いた次第です。

交通事故のデメリットは、愛する家族や事業所の業務にまで奥深く波及し、計り知れない損失を伴います。なんと言っても、一番のダメージは運転者本人です。交通事故の絶無の特効薬はありません。毎日、その都度に、心をこめて、呼び掛けること。指導と教育を反復することに意義があるものと思います。

おわりに当稿は、安全運転管理者会の機関紙に登載したものを投稿させて頂きました。東京真田町の会員皆様の交通安全の参考になれば幸いです。

よろしく

お願いします

理事 木南 和世

(中横道出身)

今度理事を仰せつかりました中横道出身の木南和世(堀内)と申します。どうぞよろしくお願い致します。

「東京真田町の会」の入会は昭和の終りに父が、平成の初めに母が他界し、何か郷里の方々を身近に感じたいという思いで、私の住まいから五、六分のところで、開かれる八千代市の長野県人会に入り、そこで現在の会長でおられる塩沢さん、中組の橋詰さん、本原の横沢さんにお会いした。



「東京真田町の会」は何年も会費だけ納めて、総会への出席はここ数年ですが、私にとっては気兼ねのないとても居心地のよいものです。もちろんこれからも出来る限り出席し、皆さんと共に楽しみ、真田町の自然人々等を、なつかしみそして「信濃の国」を歌いたいと思っています。

私達同期は三村合併で真田中学校最初の第一回卒業生です。傍陽中学校では学年二クラスづつで、六クラス、新築の真田中学校では学年六クラスの十八クラスと大所帯となりました。

新しい仲間との出会い、傍陽で一緒だった同期、後輩もそれぞれのクラスに別れての門出でした。なつかしい思い出です。

ところで「東京真田町の会」で活躍された塚田恒雄さんの突然の不幸に、私達同期、後輩は愕然とし残念で言葉もありません。ご冥福を祈りつつ、これからも一同協力し、真田町の会の発展に努力しようと思います。

どこに住んでも年を重ねても、大切な「ふるさと」にかけわりはありません。

最後に入会と会費納入の方々、総会と懇親会に是非出席下さいますよう、お待ちしております。

「ふるさと訪問」親睦

旅行会に参加して

倉島 徳一

(角間出身)

今回の「ふるさと訪問」親睦旅行会は六月五日(土)～六日(日)の日程で宿泊は菅平高原温泉ホテル桑田館でした。

私達夫婦は武捨理事さんの乗用車に同乗させて頂き八時

三〇分いざ出発(自宅)、所沢インターから高速に乗り、横川サービスエリアに着は一〇時頃、当エリヤにて同行他車(荻原理事)の会長さん他三名と合流し、計七名での旅行(たびゆき)となりました。



先ず、真田氏ゆかりの郷「御屋敷公園」を見学、私は初めてのことでした。昼食後三井前会長さんの家に立寄り、懐旧談に花を咲かせました。三井家をおいとまし、信綱寺境内に参拝し菅平を目ざしました。若葉薫るすばらしい景色と天候に恵まれた旅でした。

桑田館到着後マレットゴルフを楽しみ、その後宴会となりました。宴会につきましてはご想像のとおりです。

二日目は山菜狩りと屋外バイクンクによる昼食会等、盛りだくさんの旅を楽しませて戴きました。単なる経過報告となりましたが、会長さん始め担当理事さん本当に有難うございました。

第十七回総会・懇親会のご報告

副会長・事務局長

山口 元彦

(横沢出身)



一 開催日、出席者数等

【開催日】平成十六年七月十一日(日)

【場所】アルカディア市ヶ

谷富士の間

【出席数】会員九十五名、町から十六名

二 総会の部

【式次第】①「信濃の国」斉唱、②会長及び真田町長の挨拶、③平成十五年度会務報告、会計報告及び監査報告の承認、④平成十六年度事業計画及び予算の決定、⑤役員改選(塚田恒雄理事逝去、久保定春理事辞任、木南和世理事新任、その外は再任)

【塩沢会長の挨拶概要】

会員の皆様及び町の方々大勢のご出席並びに日頃のご支援に感謝します。イラク問題が未解決で安全面で心配があ

り、景気の回復も中小企業まで下りて来るには時間がかかりますが、良い方に向いているということで頑張っていきたいと思います。いろいろな企画を考えますので、ご参加下さるようお願いいたします。

【箱山町長の挨拶概要】

平素から町への熱い思いを寄せていただき、町民を代表してお礼を申し上げます。この夏は日照り続きでしたが、一昨日、大雨に続いて電にも襲われ、農作物にかなりの被害が出ました。町の事業は、傍陽小学校の木造校舎の建て替え、農地整理、駒込橋の掛け替えなどが進んでいます。現在、地方分権化ということで国の支援が減っており、行政の効率を良くするために合併の協議をし、安心して豊かに暮らしていけるよう、努力しています。

三 懇親会の部

【小林顧問の歓迎の挨拶】

ローマ帝国は人口の減少とともに衰退したので、町の人



口が減らないようにみんなが努力しよう。「信濃の国」を歌うたびに、信州の偉人の中に真田幸村が出てこないのに違和感を覚えます。町には会の創立の時からお世話になっておりお礼を申し上げます。

【佐藤町議会議長の祝辞】
東京真田町の会の活動に敬意を表します。町では高齢化と少子化が進んでおり、会員の方々が子供や孫を町へ連れてきて、町に住みたいとか嫁に行きたいと思ってもらえるようご協力いただきたい。

【柳沢喜三郎氏の乾杯の音頭】
私は今回で出席十六回になります。会がうんと盛り上がっていきように、渾身の力を込めて乾杯しましょう。

【アトラクション】箱山りさんの歌

箱山さんはおじいさんが真田町出身だそうです。コロナビレコードに所属しておりデビュー曲「愛を信じて」や「土曜の夜何かが起きる」のほか、「天使の誘惑」や「かわいいベイビー」など懐かしい曲もたくさん歌ってください。新曲「想い出をひとつだけ」を初披露してくれました。今後のご活躍を期待しましょう。



【隠し芸大会】

鎌田ちえ子会員「わすれな草をあなたに」、野村勝太郎会員「恩返し」、飯島慶三郎副会長「赤いハンカチ」、深町富栄会員「夫婦ごよみ」、武田守央会員「北の旅人」、後藤静子会員「白い花の咲く頃」、中村恵美会員「夫婦春秋」、佐藤ムネ子会員の舞踊「みだれ髪」、箱山好猷町長と中島正江副会長のデュエット「麦畑」と、盛りだくさんでした。隠し芸大会も三回目になり飛び入り出演が増えて盛り上がりしました。

【塚田恒雄理事追悼】

当会の設立準備段階からご尽力いただいた塚田恒雄理事が六月十九日に逝去されました。追悼のため、同理事の詩吟の録音を流し、同理事が真田中学校第一期生であるところから、同期及び後輩が真田中学校校歌を斉唱し、また、夫人から会長宛の手紙が紹介されました。

【大団円】「真田郷」の輪踊り、「ふるさと」の斉唱、万歳、武捨理事の閉会の挨拶があり、町からのお土産をいただいて解散しました。



私のひとりごと

理事 鈴木 邦子

(横尾出身)



定年！そしてのんびりと過ごす時を迎えた頃、生活の為にも有りましたが、何か人の為にお役に立てるなら、と始めた事が、介護の仕事だった。

そう、介護保険制度が発足して、五年になりました。日頃携わって行く中、どうしても矛盾を感じ、自問自答する事がしばしばあった。まださまざまな面で問題点や疑問点が多い中、大幅に制度の見直しをする動きがあります。利用する側の意識の違いもあるが、従事する側の認識の無さにも驚きを感じざるを得ない。昨年ようやく国家試験を受ける為に必要な実務経験を満たすことが出来、自分で選んだ道でも有るし、質を問われる昨今でもある。質の良いヘルパーを目指すと共に一人で

も多く育成しなくてはと思い、先ず自ら知識と技術を身につける必要があると感じ、一大決心をし、一年間勉強し受けて見ようと思った。通常の業務を勤めながらです。殆ど夜中が勉強時間となった。途中で投げたし、まいりたいと思つた時もあった。が、介護福祉士として名乗る事が出来た。

今年六十五才、何万人の受験者の中に何名か同年輩と見られる人達がおりました。忘れ去って行く事が多くなつた今、新しい事や物を覚える事の難しさを体で感じた。と同時に氣力があればまだ出来ると思つて、幾つになつても、もう年だからと諦め年のせいにせず、いつまでも勇氣と希望を持つて取組んで行きたい。そんな事で、一生人間らしく、自分らしく生きて貰う為にも、たとえ寝たきりになつても、可能性を求め、その人らしく出来る事があるはず。優しさは勿論不可欠であるが、手を差し延べるだけが真の介護とは言えないと思う。

これからの信念を貫き勇氣を持つて誠心誠意関わっていく事で、努力は必ず報いられるはず、その甲斐あってか、近頃では氣負う事なく取り組

み、さり気無い会話の中から思わぬ事が発見出来たり、教えて貰えたりする事が多くなつた。

つい先頃ですが「もうすっかり秋風になりましたね」と声をかけた。「そうだね蒸した黒ん坊を大根おろしで食べた、いよ、美味しいよ」と返つて来た。少しだけ痴呆がかった方だったのだ、何のことだろうと首をかしげていた。すると次々に私もなじみの茸の名前が出て来た。かつて、お寺の裏山で採った石ぶてと云つていた茸が山梨では、黒ん坊と呼ぶことが分つた。

こんな話をしていると故郷の味覚が懐かしく思ひ出され、この様な故郷がある事に誇りさえ感じる。それにも増し、その方の目がキラキラと輝きを見せてくれた事が素晴らしいと思ひ嬉しかった。何年何十年経つても古里への思ひは変わらないのかも知れません。こんなやり取りも大切な介護の一環ではないかと思ひ益々奥の深さを感じた一瞬でした。余談ですが、もしも私に沢山のお金と広い場所があったら、お一人で淋しく暮らしている方や、幼い尊い命を親の手によって断たれる前に声をかけて貰いそんな子供達を引

き取れる様な施設を作ることが出来るのに、なんて力もないのに夢を追ひ楽しく過ごさうと思う今日この頃です。

新潟中越地震

理事 柴田 小夜子

(菅平出身)



突然の大きな地震で多くの方が犠牲になり、続く余震の中で大変な生活を送っている皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

この所各地で小さい地震が続いていたので、いつ東京地区に襲つてきてもと不安がありました。そんな矢先の地震、長びく余震に、四十数年前の松代の群発地震を思い出し、足のすくむ思いです。

真田町の人達はとても長い間、毎日夜も昼も無く続く地震の中、恐怖と不安でいたたまれない生活だった。地面全体大きく、ゆさゆさ、ゆさゆ

さ、そして時には地の底からの大きな地鳴り、避難する事も出来ず情報も今のように入らない中、孤立した生活でとても不安で怖い年月でした。だいぶ経つてから、くずれていた墓石も土に埋もれて見当たらない等、道路もすっかり崩れ、わき水も出なくなつてしまい、生活も大きく変わってしまったのですが、すごい力です。町民の皆様の協力と努力でみごと生き返つたのです。

坂口 豪さんか
ら山口副会長へ
のおたより
(十林寺出身)

拝啓 落ち葉風に舞ふ時節となりました。

山口様には此の処四ヶ年もお目にも掛れず御無音で居りました。従つて真田町の会にも心は走らせては居りますが、此の分では何時出席出来るのやら寂しく思ひます。只、脚、

足だけの事でその内にその内に
にが何時の事やら。色々な手
当治療はしていても思ふ様に
なりません。只毎日呆然とし
て余生を送ると云ふ事でせう
か。

此の頃故郷を頻りに想ふ様
にて、幼ない頃、大正十年頃
昔の学校の読本の一せつ：先
生に教わった当時、新体詩と
云って一風ちがふ節をつけて
教わったのを忘れず覚えて居
りました。暗記して居りまし
たのを御覧になって下さい。
尋常小学校何年生かは明確で
はありません。大正地震災前
頃は、それさえ覚えてはい
ません。

若し余裕が有りましたら此
んな事はどうかと思ひまして
調度年の暮れになりますと
買ひものは当時上田町しか有
りませんでした。電車も無け
れば、特に雪解け道を誰も走
って、ゴム靴も無いので下駄
を買って貰って過したもので
す。考へれば目の前に浮ぶ様
な感じも致します。

扱今年も僅かとなりました。
今年私は私は多事多難の年であ
りましてね、こんな年はこり
ごり真平御免です。凶年とは
此の様な事でせう。手不足も
あるがその都度店を休み、二
ヶ月も店を休みました。私は

何も出来ぬ故、真から苦闘し
ました。越後の地震を想へば
先ず我慢の外ありません。

向寒の折御自愛の程、奥様
によりしく。奥様を大切にし
て下さい、現につくづく思ひ
ます。

霜月一日

山口先生

坂口

町の辻

雪どけ町のぬかる道(み)を
つえにすがりて とほとほと
あゆみきたれる 老ばあり
往き(ゆき)来(き)の車馬の たへ
ざれば

向ふかわに ゆきかねつ

老ばの前を 右左(みぎひだり
行き交(こ)う男女 おおけれど

北風さむし 町の辻

みなりいやしき 老ばには
手をかす人も あらざりき

米やの小ぞう おとくいに
米をはこびし かへりみち

ひらりとおりし 自てんしやを
角(かど)の下駄やに あずけおき

すぐに老ばを みちびきぬ

下駄買ふ人も うる人も

下駄やあたりの 人はみな

かれのすがたを 見おくりぬ

年のわかきに かんしんな

かくゆふこえを あとにして
小ぞうはのりぬ 自てんしやに

かれのまぶたに つゆありき
くにははおや のこすらん
ちいさきくいを いただきぬ

会員の皆様の

近況報告抜粋

(出身区・旧姓)

1 坂上喜代美(横尾・青木)

私は今夫に介護をしてもら
って居ます。身体が自由に動
かないので外出がなかなか出
来ません。一度は皆様とお会
いしたいなと思って居ますが、
何分体が自分で動かないもの
ですから申し訳なく思ってい
ます。

2 青木 進(横尾)

健康に心掛けつつ、農地を
借り、田舎での農業の手伝い
を思い出しながら家庭菜園を
楽しんでいきます。会の益々の
御隆盛を祈念しています。

3 青柳充紀

都合がつかず申し訳ござい
ません。

4 荒木廣之(下原)

目下企業経営努力中、老い
たりと云えお役に立とうとし
て「家庭では2人だけの生活
乍ら、妻は医者通い、私は小
言を聞き世話をやかれ乍ら、

介護師を自認し益々元氣旺盛
です。

5 金子和子(大日向・一之瀬)

参加出来ません。丁度2泊の
登山と重なってしまいました。

6 柴田小夜子(菅平・市村)

いつもお世話様でございます
。当日は宜しく願ひいた
します。

7 岩下 弘(下塚)

昭和35年に故郷信州を後
にし44年が経ちました。故郷
にはすでに親は無く妹が後を
継いで平穩に生活しておりま
す。私も大宮に定住してしま
いました。

8 上原辰夫(中横道)

今年はお出でしていただき
ます。なお住所がさいたま市
南区になりましたので南区を
入れて下さい。

9 清水民子(曲尾・上原)

早目に御返書を出そうとし
ましたが、いろいろと都合が
在り遅くなってしまいました。
やっと予定がとれましたので
出席いたします。

申し訳ありません、今年も宜
しく願ひします。

10 堀籠道子(中横道・上原)

元氣にしております。会の
発展を祈念しております。

11 友部きよ志(下横道・内川)

御無沙汰しております。昨
年は久々に参加し、たのしま
せていただきました。今年も
と考えておりましたが、残念
ながらヒザの調子がおもわし
くなく欠席させていただきました。
皆様によりしく
お伝え下さい。

12 藤井やすい(下横道・内川)

ほかの用事とかさなり欠席
させていただきます。

13 柳橋米子(下横道・内川)

いつもお世話になっており
ます。皆様にお会いできるこ
とを楽しみにしておりました
が、都合悪く欠席させていた
だきます。楽しい会になりま
すように。

14 内海章緒(大庭)

毎日郵便の窓口に出てお客
様サービスに努めています。
今年も欠席させていただきます
が、皆様によりしくお伝え
下さい。

15 内海辰三(大庭)

年をとって体が動かなくな
ってききました。氣力だけは旺
盛ですが、欠席させていただきます。
皆様に会いた
い。

16 市川登子(中組・上平)

いつも連絡がありがとうござ
います。皆様にお会いしたい

気持はいっぱいありますが残念な年ら欠席させて頂きます。

皆様もお体大切に元気で過ごして下さいませ。

17 大久保慶次郎(沢沢)
ごぶさたしておりますが元気でおります。

18 大久保繁明(大日向)
全く無職の生活を始めています。皆様どうぞよろしく。

19 大庭今朝女(大日向・大久保)
年一回の真田町の会総会の後、長村中学校の同級生と二次会を開くのが恒例となりました。今年はどうなメンバーに会えるのか、再会を楽しみに出席させていただきます。

20 大野 亨(竹室)
自己都合により「退会」したく御願ひ申し上げます。

21 萩原活美(穴沢)
退職になり7月に真田町に引越します。お世話になりましたが、退会させていただきます。ありがとうございます。

22 萩原 学(真田)
脑梗塞にて2ヶ月入院、本年12月が来ると5年が経ちます。現在日常の生活は全く不自由なく、4月から町内会の副会長をしています。季節ごとに真田を偲んでます。帰省も長野新幹線に乗るとすぐ

上田へ、6時間もかかった昔もなつかしいです。

23 岩井泰子(中原・萩原)
御無沙汰しております。去年から今年にかけて何回も故郷真田町に帰省する機会があり行ってきました。周りをかこむ山々は昔とちつとも変わりませんが、我が家の近くでは新しい家がどんどん出来、新しい住民が本場に多くなつたと聞いてびっくりしております。ふる里はいつ行っても暖かく有難いものです。連絡遅くなりすみません。

24 尾崎仲治(真田)
入院中の為出席できません。

25 海瀬弘司(曲尾)
ご案内いただき有難うございました。

26 海瀬 孟(曲尾)
何時もご連絡や通信など有難く感謝しております。今回も出席出来ませんが悪しからず。皆様様の一層のご健勝を祈念しております。

27 清水なか子(曲尾・海瀬)
役員の皆様ご苦労様です。私この度は少し体調をくずして居りまして、本場に残念ですが欠席させていただきます。皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

28 河合ふさよ(曲尾・海瀬)
河合ふさよ(曲尾・海瀬)

(瀬)

昨年の親睦旅行では大変お世話になりました。真田町の会、ございました。

今年も楽しみにしております。たのに実は妹が4月に思わぬ事故に会い、今年はおきりめ来年を楽しみにしております。

29 海瀬益男(曲尾)

片時も酸素を離せない生活が続いております。同郷の皆さんにはご無沙汰致しておりますが今年も欠席させていただきます。皆さんによろしく！お元気で

30 清水甫子(田中・金子)
幹事の皆様御苦労様です。よろしくお願ひ致します。

31 真柴邦子(横尾・神田)
皆さんにお目にかかれるのが楽しみです。出席させていただきます。

32 紺野敏子(横尾・神田)
「しらかば通信」いつも有り難うございます。この度蓮田市椿山4・25・5から都内港区海岸1・1・1 2402に転居いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。総会、会費：と失礼いたしております。

33 谷口文枝(横尾・北沢)
17回にしてはじめての参加です。出合を楽しみにしております。

34 野間亮子(横尾・北沢)

相変わらず仕事に忙しい毎日。日を過ごしております。子ども達も成長し、一人は結婚し孫ができ週末はこもりでまた楽しく、一人は北海道から帰り、一人はカナダへ株立ち、一人はやつと小学一年生となりまた楽しくも忙しいといった所です。

35 中村洋子(田中・木下)

1ヶ月に1回位の割合で旅行を楽しんでおります。又社交ダンスは週3回ほど行っております。ますます元気で

36 笹沢けさむ(横沢・久保)

役員御一同様いつもご苦労さまで、7月は孫が生まれるので行かれませんが。東京真田町の会の総会が無事終了することを念じております。

37 久保新一(角間)

今冬、2度管平でスキーをしました。やっぱ、スキーは管平、50年前宮前スキー場で滑った日を想い出しました。

38 広川雅子(横沢・久保)

真田町の皆さんが、故郷の嬉しい便りとなつかしい出逢いを運んで来て下さいます。毎年楽しみに参加しています。

39 倉島今朝二(角間)

今年も楽しみに参加させていただきます。役員の皆様には何時も大変お世話様になります。よろしくお願ひ致します。

40 倉島安三(角間)

役員の皆様ご苦労さまで。現在2年越しのひざ間接変形症治療中の為欠席させて頂き

41 倉島丈太郎(角間)

病氣のため欠席させていただきます。

42 倉島保男(角間)

長い間お世話になりました。最近に入退院の繰返しのため、会を退会させていただきます。

43 倉島義明(横沢)

体調悪く今回は失礼します。

44 小市英一(荒井)

今年4月3日に肺癌のため死亡しました。長い間の親交に感謝して居りました。

45 後藤静子(中原・古市)

今年もふるさとのなつかしい人達にあえる事をたのしみに出席させていただきます。今の所体調はまあまあ良いと思ひます。よろしく

46 小林美喜子(横尾・小林)

同級生の石井浩子様が来年度より再加入するそうです。よろしくお願ひします。

47 倉持信郎(八軒井沢・小林)

倉持信郎(八軒井沢・小林)

5月14日(5月15日)泊
二日)私共の27会(同窓会)を上田市郊外の別所温泉にて行う事が出来ました。故郷の良い所を改めて認識する事となり、有意義な時を過ごす事ができました。次回も又故郷のどこかで行われるものと期待しています。

48 小宮山寛(横沢)

元気で過ごして居ります。

49 岡村貞江(中組・齊藤)

梅雨の季節になりました。

毎日うつとうしいです。役員の皆様には日頃よりお世話になっております。年に一回の総会には是非参加したいと思っておりますが、7月11日は都合が悪く欠席させて頂いたきます。残念ですがよろしくお願い申し上げます。

50 齋藤勇一(真田)

理事の皆様御苦勞様です。

又お会いできることを楽しみにしております。

51 坂口 豪(タケヨシ)(十林寺)

毎回お世話さまになりました。有りがたく思っています。年一回を待ち遠しく楽しんで居りましたが、数年前からの脚 膝ですが歩行不可能、特に階段等は一人では無理の状態故、折角の事乍ら残念ですが欠席の外無き至りであります。

す。会員とは名ばかり何一つ残さず、甚だおはずかしい至りですが、そこへ妻他界しまして寂しい欠席の一人です。盛會を祈ります。

52 森田文子(下原・坂口)

尾道で毎日コースや体を動かす事にはげんでいます。

役員の皆様御苦勞様です。会の益々の御発展をお祈りします。

会員の皆様ぜひ尾道、瀬戸内にいらして下さい。寺町を御案内致します。

53 坂口雅彦(真田)

みんな元気です。6月妻は仕事でサンパウロへ行きます。私は運動でフットサルをしています。

54 佐藤輪子(下横道・坂口)

元気で暮して居ります。又出席したいと思っておりますのでよろしく願います。

55 佐藤宏次(田中)

毎日元気で働いております。皆様にお会い出来ることを楽しみにしております。

56 小林公江(大日向・塩)

ガーデニングをして花を楽しんでおります。又皆様との再会を楽しみに7月11日は参加いたしますのでよろしく

お願い致します。

57 鈴木マツ子(大日向・塩)

今回は欠席です。年会費の振込用紙を同封して頂けたら都合が良いと思います。

58 志野米子(大日向)

皆様にお会い出来る事楽しみにして頑張っています。

59 豊田喜代江(横尾・渋)

小学2年生・幼稚園年長の孫(男児)に月2回程会うのが楽しみです。とても賢い孫です。我々の接し方も考えなければと常に思わせて頂いております。毎回御連絡ありがとうございます。

60 清水 清晴(中横道)

御苦勞様です。御盛會を祈念します。今迄皆勤しました。が今回は都合があり欠席させて頂きます。皆様方によりしくお伝え下さい。今年3月、私の回顧録「洗馬川」(270頁余り)を上梓しました。恥を忍んで会員の7、8名様にお目通しを頂ければ幸いと存じましてお送り致しました。ごめん。

61 清水萬三郎(上原)

皆様の御多幸を祈ります。

62 杉崎寿三男(菅平)

返事がおそくなりましたが、当日も100%出席が不明です。できるだけ出席するよう準備

して居ります。

63 鈴木郁夫(横尾)

脱サラ(6年前)後100年前のヨーロッパからくり人形(オートマタ)の再現を業としてやっております。ご興味が有りましたら、インターネットで「いくさ工房」又は

<http://www.dab.hi-ho.ne.jp/ikusa>を検索下さい。

64 関 弘吉(中組)

連絡が遅くなって申し訳ありません。宜しく願います。

65 関 義一(八軒井沢)

東京真田町の総会と懇親会のご案内ありがとうございます。出席したいのですが難病におかされ、出席できません。ご盛會をお祈り申し上げます。

66 関道義(戸沢)

毎度御苦勞様です。欠席で申し訳ありません。元気でやっております。

67 南雲圭子(竹室・高寺)

五月末なのにここに、三日暑い日が続いています。一人でも多くの方々にお逢いたいと思ひ出席させて頂きます。

68 鈴木民子(竹室・高寺)

出席させて頂いたのを楽しみにして居りましたが、用事が出来てしまい出席出来なくなりました。大変残念ですが欠席させていただきます。

69 堀内 操(竹室・高寺)

今年は5月に真夏日があったり変な陽気です。暑い中、役員さんお世話様です。皆様にお会いしたく今年も出席させて頂いたきます。

70 栗林イエ子(中横道・竹内)

身体障害のため出席できません。年会費を払いたいのですが、振込用紙を入れて頂ければ、ありがたいのですが

71 武田守央(真田)

真田の武田商店の次男です。よろしく願います。久々の出席ですので楽しみにしております。

72 田中恒夫(横尾)

皆様大変ご苦勞様です。申し訳ございませんが都合が悪く欠席させて頂きます。皆様によりしくお伝え下さい。

73 田中英徳(上郷沢)

いつも出席出来ず、連絡いたさき申し訳ありません。

74 塚田 靖(菅平)

昨年まで尚美学園大学の音楽表現学科長でしたが、今年度から芸術情報学部長をさせられることになりました。音楽だけでなく、マルチメディア関係の学部のことやることになり、コンピュータの苦手な私は大変です。大学の勤務が終わりましたら(あと

数年)みな様といろいろお話をしたいと思っています。

75 桜井和子(下横道・中沢)

元気で充実した日々を過ごしております。

76 中沢欣勇(下横道)

今年も早や総会が近づいてまいりました。役員、理事の方々に御苦勞様です。なつかしい皆様に会える事は実にうれしい限りと思っています。65才が近づいてまいりましたが毎日元気で働いて居ります。

77 山本道子(大庭・成沢)

お世話下さる皆様御苦勞様です。今年も大勢の人達と逢い出来る事楽しみにして居ります。

78 井出道子(下原・南條)

今年はお出でできると思っていたのですが大変申し訳ありません。盛会をお祈り致します。本原の方が多く参加できるといいですね。

79 山口末子(穴沢・西牧)

体調くずし欠席させて頂きます。

80 山崎高子(上横道・羽毛田)

このハガキ、封筒を切る時に切つてしまい申し訳ございません。今年も総会を欠席させて頂きます。体調が回復しました時に参加させて頂きたいと考えて居ります。

81 平田金子(岡保・橋詰)

元気で。

82 橋詰 章(横尾)

いつも会の運営御苦勞様です。私最近体調不十分で会に参加が望めませんので、退会とさせて頂き。会の益々の御発展を祈ります。長い間ありがとうございました。

83 橋詰吉万雄(中組)

塩沢会長と同じ八千代市に住んでおります。八千代市の長野県人會も盛大ですが、東京真田町の会はいつとも楽しみにしております。災難がいづ誰の身を襲ってくるかわからないなかで、生きていることの尊さ、そしていつまでも元気で東京真田町の会に出席できる事の有り難さを痛感しております。東京真田町の会の盛会を祈ります。

84 橋詰照雄(中組)

盆栽の手入れや、家庭菜園で四季折々のフレッシュな野菜作りに精を出しています。時には井戸端会議ならぬ畑談義等をたのしみながら、元気で過ごしています。

85 橋詰雄治(中組)

少年野球指導やゴルフを楽しむ、会社OB会のハイキングや登山に参加し、暇な時は家庭菜園作りにと、きままに

元気に過ごしています。

86 半田喜章(中横道)

何時もお世話様です。さいたま市が政令指定都市になり、区制の制定に伴い郵便番号の変更と浦和区が追加になりました。

87 半田幸一(田中)

幹事の皆様御苦勞様でございます。又今年もお出でできず申し訳ございません。小生は何か大きな痛みにはならず、何も大きな仕事も出来ませんが頑張つて居ります。家内の方が手術後の体の調子が悪くなく、欠席と云う事になりました。御盛会を祈り上げ、乱筆にて失礼致します。

88 滝沢富志子(下横道・半田)

東京真田会のご発展と活躍をお祈りしております。私もおかげ様で、元気にしております。

89 橋本美津子(穴沢・半田)

真田町立中学第一回卒業生です。真田町の懐かしい情報ありがとうございます。草いきれのムンムンする山奥で“わらび”や“ふき”などを取った頃を思い出しました。今後共よろしく御願ひします。

90 半田幸弘(中横道)

七月五日、一三日シドニー

旅行中のため真田町の会欠席、六月五日親睦旅行、五月二八日、六月八日の間ヨーロッパ旅行のため欠席、六月二七日町民ゴルフ大会、当日会社役員会のため欠席、十月六日秋季ゴルフ大会出席。

91 勝田昭子(田中・堀内)

昨年は出席できなかったのですが、今年は頑張つて大都会に出て行きたいです。

92 井上かつよ(田中・堀内)

役員の皆様御苦勞様です。今回もお世話になりますので宜しく御願ひ致します。

93 木南和世(中横道・堀内)

本年も皆様と楽しいひとときを過ごせますことをうれしく思います。よろしく御願ひ致します。

94 所 けさい(中横道・堀内)

この4月から、期待の市の循環バスが、やっと運行の運びとなりました。バスのある暮らしは、特に高齢者の行動範囲が大きく広がり、変化しました。私も大いに利用しています。今年も欠席で申しわけありません。

95 堀井けさ子(田中・堀内)

役員の皆様には有りがとう

ございます。これからもよろしく御願ひ致します。今年60才になりました。これからの人生が楽しい出来事を沢山みつけながら生きて行きたいと思っています。

96 久野けさ子(中横道・堀内)

何時も幹事の皆様有難うございます。私も退職後は、区の老人施設へハンドベルを活用し、慰安に参加し、お互いにふれあいを持ち合いながら楽しんで居ります。又、ふるさとを思い父の顔、母の顔を思い浮かべながらのボランティア活動です。

97 堀内茂雄(中横道)

幹事御苦勞様です。

98 堀内照美(上横道)

長野県人会連合会青年部(既に青年は過ぎていますが)に所属しています。会員募集中です。連合会主催の秋季大会(日比谷公会堂)は「田川寿美」を予定しています。

99 堀内寅次(中横道)

人生現役Vを目指して頑張つて居ります。皆さんにお会い出来るのを楽しみにして居ります。

100 松井雅子(中横道・堀内)

案内状いつも有難うございます。

101 吉川 操(上横道・堀内)

楽しみにして居たのですが仕事で残念。しらかば通信なつかしく色々思い出されまして。会長さん初めみな様大変でしょうがこれからもよろしく願います。

102 堀内 幸(下横道)

返事が遅れて大変申し訳ありませんでした。先日の理事会ではがきを出したと思っ

103 堀内基之(下横道)

大変遅くなり申し訳ございません。(主人入院中の為)

104 山本美江(下横道・堀内)

いつもお世話様です。残念ですが7月11日は先約があつて欠席になります。皆様によろしく。

105 桃井俊江(戸沢・牧内)

皆様の御活躍の様子、真田町の近況などがえ、楽しみに。しらかば通信"を拝見しております。

106 牧内 操(萩)

今、萩にある家を改装中です。11月末には完成する予定です。

107 正木とみ子(菅平)

皆さんお元気ですか、年一度の会楽しみにしてましたが

選挙にたずさわる仕事をしておりまして、この日は(参)投票日の為出席出来なく残念です。

108 岩崎みち子(菅平・正木)

大変遅くなり申し訳ありません。今回は欠席させて頂きます。皆さまには本当に申し訳けなく思っていますが、よろしくおねがいします。

109 松井平三(中原)

家内が長期入院加療中です。総会は失礼します。いつもご連絡ありがとうございます。

110 古畑忠彦(真田・松尾)

税関で国際郵便物の通関を担当しております。

111 松沢 信(大日向)

いつも御連絡ありがとうございます。諸々の行事等参加させて頂きたいのですが、なかなか日程があわず失礼しており、申し訳なく思っております。これからよろしく願います。※近々ゴルフ同好会に入会したいと思っております。

112 丸山廣義(曲尾)

大変おそくなりまして申し訳ありません。

113 若月あい子(中組・三井)

都合により脱会します。ありがとうございました。

114 島田イツ子(中組・三井)

都合により退会いたしたくお届けいたします。大変お世話になりました。

115 三井 周(大庭)

当日は参議選の投票票日に当るので、出席が危ぶまれます。大勢の参加で盛会、成功されることを願っています。

116 三井 毅(大庭)

真田町の会暫くご無沙汰しております。折を見て参加したく思っております。ご盛会を祈っております。

117 三井史子(中組)

役員の皆様本当に御苦労様です。私も仕事がありますのでもしかしら休日でなくなる事があります。休みでしたら出席したいと思っております。ヨロシク御願ひ致します。

118 三井芳郎(大庭)

総会大変ご苦勞様です。出席させて頂いたきます。よろしく御願ひ申し上げます。

119 宮崎十人重(菅平)

昨年は出席できず残念でしたが、今年は出席しますのによろしく御願ひ致します。

120 長屋京子(菅平・宮澤)

いつも理事様方のご活躍に感謝。ありがとうございます。又、ロゴスキーのご利用もお待ちしております。

121 吉川栄子(中組・武捨)

元気に過ごしております。

122 武捨久男(中組)

高齢で昨今は病院通いが仕事です。

123 望月正幸(横沢)

名簿に記載されています電話番号が違っていますので訂正御願ひします。電話〇四七—四四七—五八八四

(失礼いたしました。ご指摘ありがとうございます。…編集部註)

124 森本幹生(入軽井沢)

御多忙中会長職大変な事と思います。お疲れ様です。私は自分の仕事もそこそこ、カルチャー講座をあつちこつちと休みなしの様な状態ですが、出品したい展覧会がありましてS 100号2枚をそろそろと思っております。盛会であります様願っております。皆様の健康も

125 八木五郎(中横道)

新緑の間を走る遠乗りの自転車にハマッてます。稲毛より九十九里海岸の日砂風呂に入って一杯ヤッテの日帰りコース(100K)お進めかなあ?元気が何よりの御馳走です。

126 佐藤ムネ子(真田・矢島)

役員の皆様いつもお世話様です。孫(3才)と留守番をしている毎日です。今年も皆様にお会い出来ますこと楽しみにしています。

です。孫(3才)と留守番をしている毎日です。今年も皆様にお会い出来ますこと楽しみにしています。

127 柳沢郁政(戸沢)

当日、テニスの合宿と重なっており、クラブの会長やっていますので都合もつかず残念です。仕事に、遊びに楽しくやっています。盛会であります様、皆様によろしく。

128 柳沢喜三郎(萩)

年毎に親睦の度合いを増して行くことを大変喜んでいます。盛会を祈念します。

129 矢沢恵子(戸沢・柳沢)

元気で暮らしています。が、家業(洋服寸法直し)の方が仕事が減ってしまい半日パートに出ています。もう少し頑張りたいと思っています。皆様によろしく!

130 松井志づ江(萩・柳澤)

残念ですが都合により出席出来ません。皆様によろしくお伝え下さいませ。

131 宮田マキエ(戸沢・柳澤)

ふるさと通信をとてまたのしみにしております。体調をくずし残念です。コドクにたえております。皆様によろしく。

132 佐藤昌江(萩・柳沢)

いつもお世話になります。

大変遅くなって申し訳ございませんが、出席させて頂きま
す。どうぞよろしくお願い致
します。

133 柳澤 實(秋)

会長さんをはじめ事務局の
皆様、いつもお世話様です。
今回もなつかしい皆様方にお
逢い致したく出席させて頂き
ます。

134 柳澤保治(真田)

会長、ご苦勞様です。楽しみ
にしています。

135 柳澤義祝(秋)

御盛會をお祈りします。

136 北澤りん(上横道・柳

沢)
返信がすこしおくれて申訳
ありません。孫のめんどうを
見ながら元気で頑張っていま
す。

137 山浦教代(下塚)

しらかば通信、ダボスとい
つもありがとうございます。と
てもみじかにうれしく存じま
す。ありがとうございます。
益々の御発展を願いつつ、

138 山口和明(大日向)

毎日元気にしております。
囲碁とゴルフで過ごしており
ますが、仲間がいらっしゃい
ましたらご連絡下さい。レベ
ルは次の通りです。

囲碁六段。ゴルフ 30 H。東京
真田町の会に囲碁愛好会の設

立を願います。世話役なら引
受け OK です。

139 椎名己津男(横沢・山

口)

遅れてしまい申訳ありませ
ん。出席の予定でございました
が、町の祭りの役員で当日ど
うしても参加出来ません。次
回を楽しみにしております。
会員の皆様ご健勝で！

140 山宮敏男(入軽井沢)

桶川サイクルクラブに入会
して3年になります。今年い
月 30 日は浦和の彩湖に行き
ました。桶川から荒川土手、
入間川土手の自転車専用ドウ
口を通り秋ヶ瀬公園へ彩湖ま
で片道 35 K です。現在会員は
13 名です。月に一度サイクリ
ングに行きます。さわやかで
す。

141 安田美智子(入軽井

沢・山宮)

元気になっておりました。お
久し振りで。昨年初めての
参加、今年も是非参加させて
ください。

142 浅水みち子(入軽井

沢・山宮)

23 年生まれの方がどれく
らい集まってくくださるか楽し
みに出席させていただきます。

143 横沢武久(大畑)

年 3 回位は田舎に帰ってい
ます。

144 横沢武典(大畑)

ゴルフではお世話になりま
した。又お世話になります。
よろしくお願い致します。

145 横沢正晃(大畑)

いつもお世話になっていま
す。7 月 3 日より海外出張中
で参加出来ません。皆様によ
ろしく御願致します。

146 横沢政雄(大畑)

老体になりましたので、脱
会させていただきます。

147 横沢義雄(大畑)

最近、小、中学校の同級会、
高校の同級会、等で田舎に出
かける機会が多くなり、田舎
の良さを再認識いたしました。
林)

148 滝沢けさ子(赤井・若

林)

いつもお世話に成ります。
新座でのマレットゴルフには
参加させてもらい、わいわい
と楽しい一日でした。そして
美味しい果実(野菜?)がいい
ですね。

149 若林 豊(赤井)

申訳ありませんが都合が悪
く欠席します。



真田にセカンド ハウスを持つて

理事 深町共栄

(田中出身)



編集委員長の武捨衛人さん
から、真田町にセカンドハウ
スを持つて 10 年近くになる
ので、その感想を書くように
お声をかけていただきました
ので、ここにいきさつと現況
報告をさせていただきます。

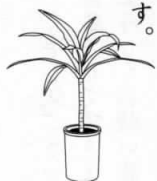
高校を卒業後、10 年間東京
に住み、その後 6 年間は横浜
の港南台の公務員宿舎、そし
て現在の埼玉工業大学(埼玉
県岡部町)に転職の折(昭和
51 年)、県の公団が分譲した
深谷市のテラスハウスに移り
住み、今日に至っています。
六本木の東京大学物性研究所
勤務時代、都心の人ごみ、通
勤ラッシュ、片道 1 時間半の
通勤時間などは、田舎育ちの
私の性に合いませんでしたが、

深谷では、通勤時間が 15 分に
短縮、上州三山が近くに見え、
1 時間足らずのドライブで森
林浴ができるようになりました。
た。私も大学教員というの
は、教育と研究が両立してい
なければなりません。「大学
は長い夏休みがあつて良いで
すね」と思われるのですが、
力量不足の私にとっては、夏
休みや週末は研究に集中する
時間で、休日にはなりません。
深谷の生活も 10 年を越し、土
日も研究室にこもり続ける単
調な生活にストレスを感じ始
め出した頃、東京真田町の会
の発足で真田町の様子が良く
分かるようになり、また高速
道路と新幹線の開業で、真田
へ 1 時間近くで行けるようにな
ると、直ぐに山道が散策で
きる環境が無性に恋しくなり
ました。そこで、思い切って
真田町役場が分譲した傍陽曲
尾区にセカンドハウスを持つ
ことにしました(平成 8 年)。
卒業研究生が来てゼミが出来
るように、また地元の皆さん
にパソコン講習のサービスが
出来るようにと間取りを配慮
したので、次の理由で未
だ生かされていません。
今、週末は、ほとんど真田
で過ごしています。真田は開
放感があり、山道の散策、庭

の木々や草花の手入れなど、体を動かす機会が増えたおかげで体重が少し減り、運動能力が高まって健康になった感じでした。またガーデニングは私の数少ない趣味の一つとなり、ストレス解消に役立っています。ですがこの週末も私にとっては研究のための時間です。真田町の有線のADSLは非常に早くから整備されましたのでインターネットは快適に利用できます。ですから真田でもパソコンに向かって十分研究に専念出来ます。

静かな環境で勉強ができ、研究に疲れたならば、山道散策やガーデニングで気分転換が出来ますので仕事の効率は上がりました。

こんな訳で時間的ゆとりが乏しいものですから、パソコン教室のサービスや地元の方々との接触がほとんどできず、また自治会の会合も欠席しています。少子化問題で大学を取り巻く環境は厳しくなっていますので、しばらくの間は現状維持のようです。ですが皆様方、近くに來られましたら、是非ともお立ち寄りください。お茶とお菓子は用意しております。



秋季ゴルフ大会

に参加して

半田 喜章

(中横道出身)



去る10月6日(水)東京真

田町の会の秋季ゴルフ大会は、群馬県甘楽郡甘楽町の小幡郷ゴルフ倶楽部で行われました。

一昨年堀内理事に誘われて初参加以来、東京真田町の会のゴルフコンペへの参加は、5回目になります。当日は三日間降り続いた雨も上がり、色付き始めた木々のコースからは、噴煙の上がる浅間山こそ雲に蔽われ見えませんでしたが、上毛三山を初め谷川連峰、遠くは日光連山も雨に洗われた青空に映え絶好のゴルフ日和となりました。

これも一重に幹事諸氏のご努力とメンバーの日頃の品行が良かったからと自負しつつスタートホールへと向かいました。今回の会場小幡郷ゴルフ

倶楽部は、上信越自動車道富岡ICより10分の至便の所にあり、今年も実施されたベルーナ女子オープンゴルフの会場としても知られる戦略性の高いコースです。

甘楽町小幡は戦国武将小幡氏の城下であり、居城の国峰城は、中世における大城郭で、他には見られない特異な構成であって、山城部、丘城部、平城部が広範囲に展開している。小幡氏は武田軍団の幕下に加わり、武田軍団の先陣として武勇をほせ「朱備え」着用を許され、上州朱武者として恐れられた武田24将の一人であります。

武田氏滅亡後は織田信長配下の滝川一益に従い、本能寺の変以降は小田原北条氏の勢力下に入ったが、天正18年(一五九〇年)豊臣秀吉の小田原城攻めにより落城した。甘楽の地を徳川家康に明け渡し、真田氏を頼って信州に去っているという真田町とも深い関係がある。

城下町として栄えた甘楽町小幡は、白壁となまこ堀が印象的な古い家並みと桜並木に沿って流れる雄川堰は日本名水百選にも選ばれた落ち着いた町並みである。

残念ながら、今回は何時も

路に着きました。

各部の活動報告

☆ふるさと訪問

期日：16年6月5日～6日
参加者：男5・女2計7人
コース：初日：新宿西口集合

(8:30)→関越高速→真田町着(11:30)→お屋敷→十割そばで昼食→三井前会長宅訪問→菅平高原着(16:00)→マレットゴルフ→親睦会→桑田館宿泊

2日目：菅平高原牧場でわらび狩り→屋外バイキングで昼食→高速→新宿着(18:00)→解散

担当理事 荻原啓治

TEL 03(3315)5930
携帯090(8442)2317

参加者が7人で少し寂しかったが、初夏のふるさと真田町はさわやかで菅平牧場の久しぶりのワラビ狩りや屋外バーベキューは楽しく、庭先が太郎山の三井前会長宅の空気の美味しかったこと！そして昼食のそばとは別腹でご馳走になったおさがまた絶品でした。来年は大勢の皆様のご参加を期待します。

(同行記者 武捨記)



☆スポーツ

◎ゴルフ同好会

だより

恒例！秋季親睦ゴルフ大会
開催：恒例になった、年2回
(春、秋) ゴルフコンペの秋
季親睦ゴルフ大会が平成16
年10月6日(水)に小幡郷ゴ
ルフ倶楽部で開催された。

今回は故郷真田町からの参
加がなく、東京真田町の会
員のみ13名の参加のもと、当
日は前日までの大雨がうその
よう、晴天に恵まれ絶好のゴ
ルフ日和。今日こそは優勝！
ベスグロとそれぞれスタート
していった。上がつてみれば
いつもの通り！それとも今日
こそはしっかりと賞金とれたか
な？

成績は次の通り。

優勝：宮澤 達人(番匠)
グロス 97 HD 25.2 NET 71.8
準優勝：堀内 福(下横道)
89 15.6 73.4

三位：飯島 慶三郎(下原)
74 (一) 1.2 75.2

ベスグロ賞は飯島 慶三郎さ
ん、特別賞は70歳以上参加者
唯一人の半田 幸弘さん(中
横道)でした。

平成17年度も春、秋2回開

催を予定しております。春季
大会は4月中旬、名門(社)
霞ヶ関カンツリー倶楽部、川
越市大字笠幡3398、開場
昭和44年10月。林間コースで、
男子プロ日本オープン、女子
プロ日本オープン等数々行わ
れたコースです。半田 幸弘
さんのご好意により開催する
予定です。

ゴルフ同好会会員にご案内
しますが東京真田町の会会員
どなたでも歓迎です。申し出
ください。又、秋季大会は10
月初旬群馬県内ゴルフ場で開
催予定しております。

お問い合わせは次の幹事ま
で。

東京真田町の会ゴルフ同好会

幹事 堀内 福

Tel 04(2958)1578

E-mail: htasuke255@ybb.ne.jp

荻原 啓治

Tel 03(3315)5930

携帯090(8442)2317

(下の写真右は春のコンペの
スタート前、左は秋のコンペ
のフィニッシュ後です。)



◎マレットゴルフ

同好会だより

春の大会は四月二十九日に
総勢13名の参加を得て武蔵
野線新座駅近くのマレットゴ
ルフコースで開催されました。
薫風香る新緑の栗林に柴を
貼ったコースで常連のベテラ
ンに二人の新顔も参加して、
賑やかに楽しいゲームが展開
されました。成績は次の通り
でした。

優勝：大久保治夫氏

準優勝：大久保きよさん

三位：佐藤ムネ子さん

(大久保治夫氏記)



～会員消息～

(敬称略)

<新入会員>

塩沢 博男 〒207-0003 東京都東大和市狭山 3-1228-14 Tel 042-563-4064 (大日向)
 橋本 美津子(半田) 〒191-0016 東京都日野市神明 4-7-19 (穴沢)
 堀内 保芳 〒273-0047 千葉県船橋市藤原 3-19-5 (三島平)
 松尾 一夫 〒338-0007 埼玉県さいたま市中央区円阿弥 4-8-7 Tel 0488-52-1921 (真田)

<住所変更>

青柳 充紀 〒386-2201 長野県小県郡真田町長十の原 1278 あずまや高原ホテル
 紺野 敏子(神田) 〒105-0022 東京都港区海岸 1-1-1、2402 Tel 03-3431-9258 (横尾)
 森田 文子(坂口) 〒722-0013 広島県尾道市日比崎町 7-6 日本海事協会社宅 Tel 0436-43-0748 (下原)

<退会> 長い間、会に御協力下さり有難うございました。くれぐれも健康にご留意下さい。

内海 宏光・大野 亨・荻原 活美・木島 忠夫・小山 和子・渋谷 勉・嶋田 イツ子・田中 寛文・
 橋詰 章・真山 董・矢沢 秀子・横沢 政雄・若月あい子

<逝去> 会員一同、心よりご冥福をお祈り致します。

倉島 保男・小市 英一・関谷 義久・田中 今朝春・塚田 恒雄・堀内 保明

<名簿訂正・変更等>

飯嶋 はる江 旧姓訂正 : “堀内” → “小林”
 上原 辰夫 区新設 : “南区” 挿入
 金指 信子 〒・住所訂正 : “403” → “413” “稲取町” → “東伊豆町稲取”
 佐藤 公一 町名変更 : “保谷市” → “西東京市”
 清水 輝夫 団地名訂正 : “鷺宮団地” → “鷺宮団地”
 古田 つな子 住所訂正 : “松枝住宅 2-310” を追加
 半田 喜章 区新設・〒変更 : “338-0801” → “330-0046” “浦和区” 挿入
 堀内 公子 登録削除 : 入会してない
 望月 正幸 区訂正 : “5034” → “5834”
 山井 のり子 住所・区訂正 : “清池” → “清地”、“0480-33” → “04803-3”
 山口 和明 出身区訂正 : “真田” → “大日向”

次回 総会 の 予告

平成17年の総会、懇親会は6月12日(日)、アルカディア市ヶ谷(私学会館)で開催の予定です。大勢の会員の皆様のご出席を頂きますようお願い申し上げます。
 詳しくは5月に発行の「しらかば通信」第9号でお知らせいたします。

年会費 納入 の お 願 い

平成16年度の年会費千円を未納の方は、同封の郵便振替用紙にてお振込み下さい。振り込み料は無料です。よろしくお願い致します。

広 告 御 礼

日本ダボス第17号の発行にあたり広告をお願い致しましたところ、大勢の皆様のご協力を頂きました。大変有難く、厚く御礼申し上げます。

新会員 ご紹介 の お 願 い

会員の皆様にはいつも会の運営にご協力頂き誠に有難うございます。会員相互の出会いと親睦、そしてふるさと真田町との交流の親密化を目的に誕生した東京真田町の会も、一六年余りの歴史を刻み先輩役員のご努力、会員の皆様のご協力、そして真田町当局のご支援により一人前の同郷会に成長しつつあり、ご同慶の至りでございます。

この東京真田町の会が更に充実し、発展し続けるためには会員の増加が何にもまして重要と思われまふ。皆様の友人、知人の中に東京真田町の会の会員に推薦できる方が居られましたら、会長または役員まで是非ご一報頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

連絡先 塩沢和政

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田一〇七四―三七
 ☎・FAX 047-450-3348

.....東京真田町の会では“ホームページ”を開設しています.....

URLは <http://www4.ocn.ne.jp/~soehi/index.html> です。

又ふるさと真田町のホームページからもリンクされています。こちらのURLは <http://www.town.sanada.nagano.jp/> です。真田町のホームページを開き、右側の上の方にある「リンクのページ」をクリックし、東京真田町の会ホームページへ をクリックすると HP がオープンできます。お暇な折にアクセスして、ふるさと真田町と東京真田町の会の HP を訪れてみてください。

平成15年度 決算報告書

H15年4月1日～H16年3月31日

(単位:円)

収入の部			支出の部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
通常年会費収入	650,000円	295,000円	総 会 費	1,200,000円	1,011,560円
総会懇親会費収入	1,200,000円	936,000円	会 報 発 行 費	600,000円	368,550円
真田町補助金	300,000円	300,000円	事 業 費	500,000円	72,316円
広 告 収 入	750,000円	475,000円	事 務 通 信 費	400,000円	358,348円
寄付金等収入	150,000円	175,000円	印 刷 費	150,000円	174,240円
利息等雑収入	33,334円	14,305円	会 議 費	250,000円	130,215円
			渉 外 費	100,000円	119,550円
			交 通 費	100,000円	1,320円
			雑費・手数料	50,000円	13,525円
			予 備	150,000円	
当期収入合計		2,195,305円	当期支出合計		2,249,624円
前年繰越額	416,666円	416,666円	次期繰越額		362,347円
合 計	3,500,000円	2,611,971円	合 計	3,500,000円	2,611,971円

*印刷費に名簿印刷代が含まれています。

上記の通り収支決算報告いたします。平成16年3月31日 会 計 堀内 寿美 印
 上記の決算報告書は適正かつ真実であるものと認めます。 監 事 関谷 義久 印
 監 事 塚田 恒雄 印

平成16年度事業計画

- ① 第17回総会及び懇親会の開催(平成16年7月11日)
- ② 会報「日本ダボス」第17号の発行
- ③ 広報紙「しらかば通信」の発行
- ④ ホームページの運営
- ⑤ 会員旅行会、ゴルフ会、マレットゴルフ会等会員相互の親睦をはかる行事の実施
- ⑥ ふるさと訪問の実施
- ⑦ ふるさと特産品の宅配協力
- ⑧ 真田町との交流促進のため、各種文化・スポーツ行事の実施と参加
- ⑨ 会員の店マップの発行
- ⑩ その他

平成16年度収支予算

平成16年4月1日～平成17年3月31日

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
通常年会費収入	650,000	総会懇親会費	1,200,000
総会懇親会費収入	1,200,000	会報発行費	500,000
真田町補助金	300,000	事業費	500,000
広告収入	750,000	事務通信費	400,000
寄付金等収入	150,000	印刷費	200,000
利息等雑収入	87,653	会議費	250,000
		渉外費	150,000
		交通費	100,000
		雑費・手数料	50,000
前年度繰越金	362,347	予備費	150,000
収入合計	3,500,000	支出合計	3,500,000

「東京真田町の会」役員名簿

(平成16年12月25日現在 敬称略)

職 名	氏 名
会 長	塩沢和政
副 会 長	中島正江 飯島慶三郎 山口元彦
理 事	監 事 深町共栄 小林正子
	事務局 長 (山口副会長兼務)
	会 計 理 事 堀内 寿美
事	岩崎みち子 荻原啓治 金子 誠
	木南和世 柴田小夜子 鈴木邦子
顧 問	堀内 福 堀内 幸 武捨衛人
顧 問	小林 孝雄 清水 清晴 三井 芳郎

※退任理事 長い間ご苦労様でした

関谷義久(監事・逝去) 塚田恒雄(監事・逝去)

久保定春(辞任)

※新任理事 よろしくお願ひします。

木南和世

投稿・寄稿のお願い : 日本ダボス18号・しらかば通信9号への投稿・寄稿をお待ちしております。

感想文・紀行文・思い出・近況など、日本ダボスは2,400字以内、しらかば通信は800字以内でお願いします。
 ご連絡は担当理事の武捨衛人までお願いします。

〒359-1145 埼玉県所沢市山口 4050,39-5-405

Tel: 050-3100-4589,04-2949-4776 Fax: 04-2949-4776 メール:m_musya@yahoo.co.jp

祝

東京真田町の会

—会報17号—



勝田電設工業株式会社

電気設備工事設計施工

国土交通大臣許可（特定）第3065号

取締役会長 塩 沢 和 政（大日向出身）
東京真田町の会 会長

本 社 〒132-0032 東京都江戸川区西小松川町 37 番 2 号 Tel・03(3652)8676 FAX・03(3656)3360	北関東支店 〒305-0062 茨城県つくば市大字赤塚 610 番 3 号 Tel・0298(36)4737 FAX・0298(36)4549
東関東支店 〒132-0032 東京都江戸川区西小松川町 37 番 2 号 Tel・03(3652)8676 FAX・03(3655)8328	銀座営業所 〒104-0031 東京都中央区京橋 3 丁目 3 番 14 号京橋 AKビル 7F Tel・03(5202)2558 FAX・03(5202)2557
千葉事業所 〒273-0018 千葉県船橋市栄町 2 丁目 3 番 10 号 Tel・047(437)8551 FAX・047(495)5755	E-mail : densetsu0@katsuta-g.com HP : http://www.katsuta-g.com/

菅平産業株式会社	代表取締役
菅平高原温泉	代表取締役
入間ガス株式会社	取締役会長
西北産業株式会社	代表取締役

半 田 幸 弘

（中横道出身）

〒 359-0021 埼玉県所沢市東所沢 4-3-4
電話 04-2945-2425

祝

東京真田町の会

—会報17号—

東京真田町の会 副会長 飯島 慶三郎 (下原出身) 〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町 2-33-18 ☎ 042-221-8594 携帯 090-3514-3502	土地・建物・測量・登記 飯嶋測量事務所 土地・家屋調査士 飯嶋 義道 (中組出身) 〒230-0072 神奈川県横浜市鶴見区梶山 2-38-11 ☎ 045-581-0324 FAX 045-571-8432
東京真田町の会 理事 一級建築士 荻原 啓治 (四日市出身) 〒168-0063 東京都杉並区和泉 4-42-32-301 ☎ 03-3315-5930 携帯 090-8442-2317	東京真田町の会 理事 金子 誠 (田中出身) 〒364-0035 埼玉県北本市西高尾 4-156 ☎ 048-591-4728
ビューティサロン テラ 東京真田町の会 理事 柴田 小夜子 (菅平出身) 〒155-0031 東京都世田谷区北沢 1-32-13 ☎ 03-3467-4035	東京六二会戦友会会計理事 東京真田町の会顧問 清水 清晴 (中横道出身) 〒201-0002 東京都狛江市東野川 3-12-2 ☎・FAX 03-3489-0763
東京真田町の会 理事 鈴木 邦子 (横尾出身) 〒174-0052 東京都板橋区蓮沼町 17-12 ☎ 03-5970-6969	メナード化粧品等々力駅前代行店 東京真田町の会 副会長 中島 正江 (戸沢出身) 〒158-0091 東京都世田谷区中町 4-35-17E ☎・FAX 03-3702-1385
埼玉工業大学 工学部電子工学科教授 東京真田町の会 理事 深町 共栄 (田中出身) 〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西 5-7-82 ☎048-572-7150	株式会社東都財務情報センター 堀内税務会計事務所 堀内 茂雄 (中横道出身) 〒130-0002 東京都墨田区業平 4-9-4 ☎ 03-3625-2291 FAX 03-3621-0164
東京真田町の会 理事 堀内 福 (下横道出身) 〒350-1308 埼玉県狭山市中央 3-7-L203 ☎ 04-2958-1578	東京真田町の会理事 司法書士 堀内 寿美 (上横道出身) 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-20-19 東洋ビル 402号 ☎ 03-3379-9182

祝

東京真田町の会

—会報17号—

人と地球に思いやりある環境づくりを目指して 資源愛護と環境保全は企業の責任

一般貨物運送事業、リサイクル推進事業、一般・産業廃棄物収集運搬

ISO9001取得・ISO14001 キックオフ

H14環境保全功労環境大臣賞受章

東京都知事賞 受賞・板橋区環境保全優良事業所

みすゞ興業株式会社

代表取締役 荒木 廣之 (真田町下原出身)

〒174-0041 東京都板橋区舟渡2-10-7 TEL 03(3966)2422 FAX 03(3966)2423

自宅 TEL 03(3965)4692

貿易と国際物流のコンサルタント

貿易物流研究所

所長 小林 孝雄 (曲尾出身)
(東京真田町の会 顧問)

〒234-0051 横浜市港南区日野4-45-5

TEL : (045) 843-8041

FAX : (045) 843-8041



プラザ店のご案内

URL : <http://www.rogovski.co.jp/>
E-mail : rogovski@rogovski.co.jp

副社長
調理部長

長 屋 京 子

セントラル
キッチン

東京都世田谷区弦巻5-14-25
☎03(3428)4194 FAX03(3426)4466

ゆったりとしたくつろぎ

アットホームなやすらぎ

シック&カジュアル

ビルの最上階は最高のロケーション。窓際のお席では
眼下に渋谷の街並みが広がります。

20~25名様程の着席パーティーに最適なコーナーが
ございます。是非種々の会合にご利用下さい。

室料(貸切り料)、サービス料
いっさい無し

AM11:00~PM10:00 (ラストオーダーPM9:30) 年中無休

PHONE 03(3463)3665

渋谷駅南口バスターミナル前

渋谷東急プラザ9F・味の名店街

祝

東京真田町の会

—会報17号—

東京真田町の会

理事 武捨衛人

(中組出身)

〒359-1145 埼玉県所沢市山口 5040, 39-5-405

☎・FAX 04-2949-4776

東京真田町の会

理事 堀内幸

(下横道出身)

〒235-0033 神奈川県横浜市磯子区杉田 7-20-18

☎ 045-773-6733

御殿場市・裾野市・小山町

長野県人会顧問

柳 沢 喜三郎

(萩出身)

〒412-0045 静岡県御殿場市川島田 748-2

☎ 0550-83-0081

国画水墨院理事

(元)日本選抜美術家協会常任理事審査員

国画院会員

森 本 幹 生

(入軽井沢出身)

〒211-0062 川崎市中原区小杉陣屋町 1-6-8

☎ 044-733-0267

東京真田町の会

理事 木 南 和 世

(中横道出身)

〒276-0031 千葉県八千代市八千代台北 7-9-9

☎ 047-482-4528

新お茶の水法律事務所

東京真田町の会副会長

弁護士 山 口 元 彦

(横沢出身)

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-13-10 湯浅ビル 5F

☎ 03-3815-3344

FAX 03-3815-3341

編集後記

『日本ダボス第一七号』を本日お届けいたします。

加齢とともに月日のたつのが早くなることを実感している此の頃です。本年の七月一日にアルカディア市ヶ谷で行われました第一七回の総会・懇親会の閉会の辞におきまして、次の様な一節を申し上げました。

《始まって一四〇億年の、そして一四〇億光年の拡がりを持つ広大無辺の時空の片隅におきまして、山紫水明のふるさと真田町を共有すると云う奇縁につながる私たちが、こうして一堂に会しふるさと弁で語り合うこの会は、日頃なんとなく過ぎ去ることの多い時間が止まるひと時であり、一回限りの人生に潤いをもたらす貴重な機会ではないかと思ひます。

はなやかに花々が咲き乱れる春、涼しい鳳翼の清流や爽やかな緑陰が懐かしい夏、澄んだ青空と紅葉に彩られる錦秋の秋、寒風吹きすさぶ冬と、四季折々の豊かな自然に恵まれた真田町で育ち、質実剛健と元氣印だけが取柄の私たちも、半世紀余りの人生を過ごした今日では時にはゆったりした歩みが必要なのではないでしょうか。バスに満載して持ち込まれたふるさと言葉が飛び交った本日の楽しい語らいを糧に、明日からの生活を健康に過ごされ、来年のこの会でまた皆様が元氣な姿で再会できますことを祈願いたします。』

不肖の身を省みず大勢の諸先輩の前で申し上げましたこの一節こそ、若き日にふるさとを後にして異郷に頑張ってきた「東京真田町の会」の会員の皆様に共通のふるさとを思う心情ではないかと思ひます。

ふるさと真田町ではいま町村合併問題をめぐって、重大な局面を迎えている様子が伺えます。合併の推進派も、反対派も思ひはただ一つで、この豊かな自然に恵まれたふるさと真田町を受け継いでいく子孫により良い生活の場を残したい一心につきると推測いたします。慎重で熱心な討議を重ねられていく様子が伝わってまいりますが、異郷にある私たちも深い関心を持って成り行きを見守っております。どうか、決着を見た後は結果のいかに問わず、わだかまりを忘れ、一致協力されて真田町のいっそうの発展を図られることを祈念してやみません。

毎年日本ダボスの編集には、余裕を持って作業を進める計画で臨むのですが、力量不足で今年も後手に回り、理事の研修旅行先で校正原稿を配布するなど、編集委員の皆様にご迷惑をお掛けしました。

最後になりましたが真田町情報政策課の中山勇次様には町当局の大変な時期にふるさと発の投稿・寄稿の取り纏めやまちかどのスナップ写真の手配などですっかりお世話になりました。厚く御礼申し上げます。

また、すばらしい原稿をお寄せいただきました投稿者・寄稿者の皆様、本当に有り難うございました。

(武捨衛人記)

幼き頃のうた・唱歌…

野菊

石森延男 作詞
下総皖一 作曲

遠い山から 吹いて来る
小寒い風に ゆれながら
けだかくきよく におう花
きれいな野菊 うすむらさきよ

秋の日ざしを あびてとぶ
とんぼを軽く 休ませて
しずかに咲いた 野辺の花
やさしい野菊 うすむらさきよ

霜が降りても まけないで
野原や山に 群れて咲き
秋のなごりを おしむ花
あかるい野菊 うすむらさきよ

故郷

高野辰之 作詞
岡野貞一 作曲

兔追いし かの山
小鮒釣りし かの川
夢は今も めぐりて
忘れがたき 故郷

如何に在ます 父母
羨なしや 友がき
雨に風に つけても
思い出ずる 故郷

志を はたして
いつの日にか 帰らん
山は青き 故郷
水は清き 故郷

里の秋

齋藤信夫 作詞
海沼実 作曲

静かな 静かな 里の秋
お背戸に木の葉の 落ちる夜は
ああ母さんと ただ二人
栗の実煮てます いろいろばた

あかるい あかるい 星の空
鳴き鳴き夜鳴の わたる夜は
ああ父さんの あゝ笑顔
栗の実たべては 思い出す

さよなら さよなら 椰子の島
おふねにゆられて 帰られる
ああ父さんよ ごぶじでと
今夜も母さんと 祈ります

赤とんぼ

三木露風 作詞
山田耕筈 作曲

夕焼小焼の 赤とんぼ
負われて見たのは いつの日か

山の畑の 桑の実を
小籠に摘んだは まほろしか

十五でねえやは 嫁に行き
お里のたよりも 絶えはてた

夕焼小焼の 赤とんぼ
とまっているよ 竿の先

故郷の空

スコットランド民謡
大和田建樹 作詞

夕空晴れて 秋風吹き
月影落ちて 鈴虫鳴く
思えば遠し 故郷の空
あわが父母いかにあわす

澄み行く水に 秋萩垂れ
玉なす露は 芒に満つ
思えば似たり 故郷の野辺
あわが兄弟 たれと遊ぶ

紅葉

高野辰之 作詞
岡野貞一 作曲

秋の夕日に 照る山紅葉
こいもうすいも かずある中に
松をいろうと かえでやつたは
山のふもとの すそもよう

谷の流れに 散り浮く紅葉
波にゆられて はなれてよって
赤や黄いろの 色さまざまに
水の上にも 織る錦

庭の千草

イギリス民謡
里見義 訳詞

庭の千草も 虫の音も
枯れて淋しく なりにけり
ああ 白菊
ああ 白菊
ひとり遅れて 咲きにけり

露にたわむや 菊の花
霜におごるや 菊の花
ああ あわれあわれ
ああ 白菊
人の操も かくてこそ

故郷の廃家

William Shakespeare Hays 作詞/作曲
犬童球溪 作詞

幾年ふるさと 来てみれば
咲く花 鳴く鳥 そよぐ風
門辺の小川の ささやきも
なれにし昔に 変わらねど
荒れたる 我が家に
住む人 絶えてなく

昔を語るか そよぐ風
昔をうつすか 澄める水
朝夕かたみに 手をとりて
遊びし友人 いまいずこ
さびしき 故郷や
さびしき 我が家や

旅愁

J. P. Ordway 作曲
犬童球溪 作詞

更け行く秋の夜 旅の空の
わびしき思いに ひとりなやむ
恋しやふるさと なつかし父母
夢路にたどるは 故郷の家路
更け行く秋の夜 旅の空の
わびしき思いに ひとりなやむ

窺うつ嵐に 夢もやぶれ
遙けきかなたに 心まよう
恋しやふるさと なつかし父母
思いに浮ぶは 杜のこずえ
窺うつ嵐に 夢もやぶれ
遙けきかなたに 心まよう

ふるさとのあちらこちら・2

写真提供 : 真田町役場 情報政策課

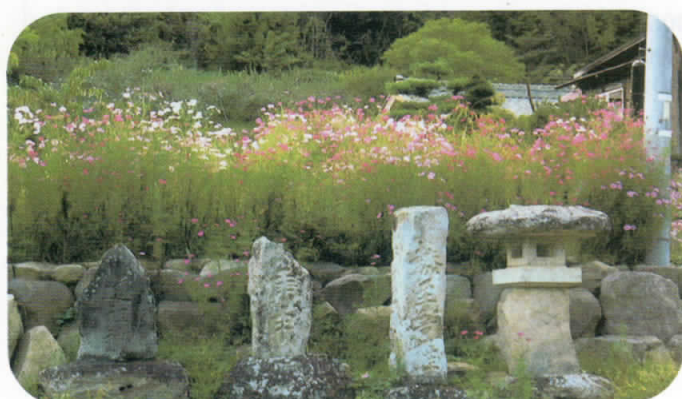
写真撮影 : 編集部 武捨 衛人



“入浴効果抜群と地元で評判の千古温泉”



“竹室のめがね橋～ふるさとのおだやかな秋です”



“のどかなふるさと風景～路傍の道祖神”



“懐かしいお屋敷の三ツ頭獅子”



“中大日向から上大日向へ向かう旧国道”



“傍陽川と鳳翼の川をなす洗馬川の清流”



“学び舎の跡を訪ねて～岡保分教場跡のモニュメント”



“番匠のかつらの大木?古木?”

益々躍進を続ける 真田不動産グループ

本社貳番館ビル竣工



貳番館

壹番館

WAKO真田本社ビル

壹番館

- 1F ●特選輸入洋品 WAKO ショールーム ☎03-3620-2411
 ●総合不動産業 株式会社 真田不動産 ☎03-3620-2511
 2F 貸事務所（歯科医院）
 3F～6F IMPERIAL HORIUCHI（賃貸マンション25室所有）

貳番館

- 1F 店舗
 2F～6F IMPERIAL HORIUCHI（賃貸マンション28室所有）



株式会社 真田不動産

代表取締役 堀内 政

〒120-0005 東京都足立区綾瀬6-30-8（WAKO真田ビル1階）
<http://www.sanada-fudosan.com>
 自宅：足立区青井4-4-10 03-3840-3211

会社設立のご挨拶

拝啓 初秋の候 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当社 株式会社真田不動産、設立並びに社屋落成15周年を、順風満帆のうちに無事迎える運びと相成りました。

15周年の節目と成る本年は、かねてより準備して参りました、傍系会社を下記の如き設立、開設する事になり、お知らせ旁々、書面で大変失礼とは存じますが、御挨拶申し上げます。

尚、系列会社の業務と致しましては主に、不動産、競売、落札を目的として、只今第一線にて躍進中です。

月並いとは思いますが、何とぞご指導ご鞭撻賜ります様お願い申し上げます。

季節の変わり目、ご健康には充分ご留意下さい。

敬 具

2004年9月28日

有限
会社

和 光

Real Estate Auctions
不動産・商事部

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町19-35-803
 TEL 03(3660)9411(代) FAX 03(3660)9415
<http://www.nihonbashiWAKO.com>

代表取締役
堀内 政



新事務所よりの眺望

＝ 秋期販売物件 ＝

- | | | |
|-------------|---------|------|
| ・中央区佃1丁目 | 鉄骨4階建住宅 | 売却済み |
| ・目黒区青葉台3丁目 | 〃 | 商談中 |
| ・練馬区土支田4丁目 | 木造2階建 | 落札 |
| ・目黒区碑文谷1丁目 | アパート | 〃 |
| ・江戸川区中葛西1丁目 | 鉄骨4階建 | 〃 |
| ・世田谷区経堂2丁目 | 木造2階建 | 〃 |

(9月20日現在)

・以上詳細は送信致します

日本ダボス

平成16年12月25日発行

発行／東京真田町の会 会長 塩沢 和政

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田1074-37 TEL・FAX.047-450-3348

編集委員／武捨 衛人・柴田 小夜子・鈴木 邦子・堀内 幸・木南 和世

印刷／上田市・（有）アオヤギ印刷